

(3) 元興寺旧境内・奈良町遺跡・鬼齒山城 第49次

I はじめに

調査地は、北側が菩提川の、南側が尾花谷川の南析谷に挟まれた段丘の西端部に位置する。現況は宅地で、敷地東寄りが東隣の奈良ホテルから続く高台の一部（最高部標高101m）、その北側から西側にかけてが平坦地（標高89m）、南側は尾花谷川沿いの低地（標高85m）となっている。高台の周縁は40~50°の急斜面で、北側の斜面の東寄りでは谷状の凹地となっている。北側から西側にかけての斜面は標高93m付近で傾斜が変化し、上位に比べ下位がやや緩くなる。

調査地付近は、奈良時代には元興寺の寺地であったのが、平安時代に衰退した後に興福寺の寺地となっている。現在奈良ホテルが建つ高台は、中・近世にかけて門跡寺院である大乘院の寺地となり、「鬼齒山」と呼ばれていたことが古絵図でうかがえる。ここには室町時代中頃の1541年に興福寺内部の権力抗争を背景に大和国内の上豪の2人勢力である筒井氏と越智氏が対立した際、越智方に付いた人乘院の前門跡安位寺経覚と筆頭衆徒古市胤仙とによって鬼齒山城が築かれている。調査地内では、高台の最高部付近が方形の壇状になっており、奈良ホテルとの境界が切通し状になっている。一方、菩提川に面した地域は「菩提谷」と呼ばれ、中・近世には興福寺の子院が群在した。調査地には、室町時代に薬師院、江戸時代に成身院があったことが古絵図でうかがえ、特に後者については調査地内の平坦地に建物群があり、今の宅地と同様に高台の一部が敷地に取り込まれていた様子が描かれている。

調査地周辺で過去に実施した発掘調査は4件ある。いずれも中・近世の興福寺の子院の跡地で実施したもので、南西約80mの所で実施したGG第14次調査（昭和63年度）では、平安時代から江戸時代にかけての井戸、溝、土坑等を確認したが、残り3件はきわめて小規模なもので顕著な遺構は見つかっていない。鬼齒山城に関しては、これまで発掘調査は行われていない。

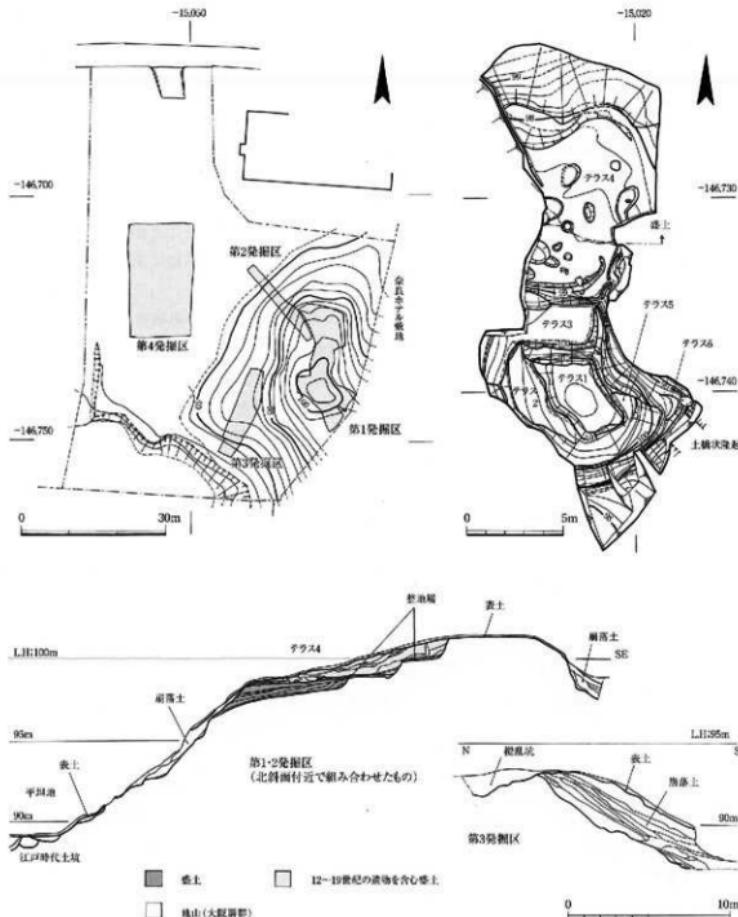
今回の調査では、高台においては中世の鬼齒山城に関連する遺構の確認を目的として最高位に第1発掘区（100m²）を、平坦地に面する西落ち斜面に第2発掘区（40m²）を、尾花谷川沿いの低地に面する南落ち斜面に第3発掘区（90m²）をそれぞれ設定し、平坦地においては中近世の興福寺の子院に関連する遺構の確認を目的として第4発掘区（290m²）を設定して実施した。

II 検出遺構・遺物

第1発掘区 発掘区全体で、段丘を形成する大阪層群の地山を、主に切土により階段状に造成した鬼齒山城の一部とみられる遺構を確認した。テラス状の遺構は6箇所（テラス1~6）ある。テラス1は、最高位（標高101m）に構築され、東西20m、南北35mの平面方形である。テラス2は、テラス1の西側で標高100.5m付近に構築され、最大幅1.6mの犬走状を呈する。テラス3は、標高100m付近でテラス1の北側からテラス2の西側へL字形に構築され、幅0.7~1.2mの犬走状を呈する。テラス1北側部分で東辺に沿って幅0.3m、高さ0.4mの土手状の高まりがみられる。テラス4は、テラス3の北側で標高99m付近に構築されており、南北8.5mのうち、南より3mが切土、以北は盛土（厚さ最大1m）で造成されている。切土部分の東辺に沿ってテラス2と同様の土手状の高まりがあり、そこから南側の斜面に沿って幅0.2~0.5m、深さ0.1mの溝がみられる。テラス5・6は、テラス1東辺の東落ち斜面の南寄りにある小規模なものである。なお、テラス3・4の上面には整地層（厚さ0.1~0.2m）がみられ、さらにその上に盛土がなされている。テラス4とその整地層上面では複数の小土坑を確認した。テラス状の遺構の周囲の斜面はいずれも60°程度と急である。切通し状の部分は調査範囲が限られたが、テラス1上面から底面までの比高差は5m以

上で、東寄りでテラス6に近接した箇所に土橋状の隆起があることを確認した。出土遺物の大半は土器（主に土師器・瓦質土器）で、すべて細片、小片である。テラス3の盛土中からは15世紀の土器が出土しており、テラス3・4の整地層とその上の盛土の下位では12～16世紀の、テラス3・4上の盛土上位と切通し状の部分の堆積層上位では16～19世紀の土器が混在する。

これらの遺構は、見晴らしは良いが生活用水の確保が困難な立地や、テラス4の盛土やテラス3・4の整地層及びその上の盛土の下位から出土した遺物の時期を考慮すれば、鬼面山城に伴う遺構であると判断される。テラス1～4は曲輪に類するものとみなされるが、他の曲輪の類例に比べ



左上：発掘区位置図 1/1,000、右上：第1発掘区遺構平面図 1/250、下：土留岡 1/300



第1発掘区全景（北から）



切通し（西から）



土槽状陥落（西から）

て規模が小さいのは、地形上の制約によると考える。切通し状の部分は、その形状から堀切とみられる。

第2発掘区 室町時代の遺構面に対応する前述のテラス5の盛土及び大阪層群の地山の上面の形状及び堆積層は、現地形に対応し、標高93m付近を境に様相が異なる。高位では標高93m付近の幅2m程の平坦面の上に第1発掘区と同様の55°程度の急斜面が続き、そこに上方からの崩落土が堆積するのに対し、低位は40°程度と少し緩く、崩落土はほとんど堆積していない。前者は形状から鬼齒山城に伴う切岸とみられ、後者は後述する第4発掘区の状況もふまえれば、江戸時代の成身院建立に伴う敷地の切土造成によって生じた法面と判断される。なお、低位の平坦地部分（標高89m）で江戸時代の土坑を検出した。



第2発掘区全景（北西から）

第3発掘区 室町時代の遺構面に対応する大阪層群の地山上面は、第2発掘区の低位と同様の40°程度の斜面で確認した。この部分の標高は88~93mである。上面には中・近世の土器（土窯器・瓦質土器）の細片を含む上方からの崩落土が堆積する。形状や上面の堆積層の状態から斜面には人為改変が加えられていないと判断される。



第3発掘区全景（南西から）

第4発掘区 層序は、基本的には現宅地の盛土層（厚さ0.2m）の直下で地山の大坂層群となるが、西壁沿いでは地山上面が約1m低くなり、盛土層との間に江戸時代の土器片や瓦片を含む整地層がみられる。遺構検出面は地山上面（標高89.1~90.1m）で、室町時代の鬼齒山城に伴うとみられる遺構と江戸時代の成身院に伴う

とみられる遺構を確認した。

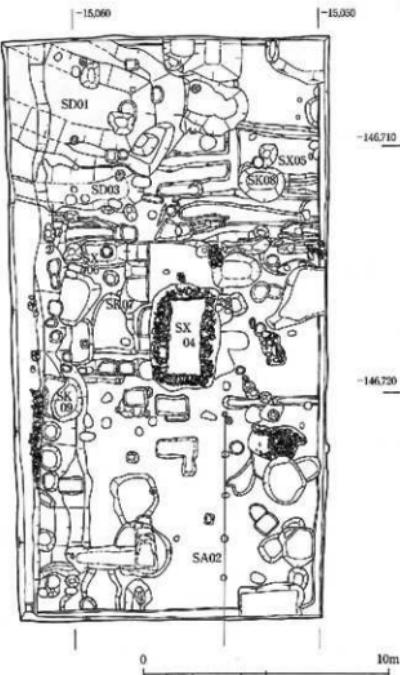
室町時代の遺構には、発掘区北西隅で確認した濠状遺構SD01がある。幅6m、検出面からの深さ1.7mで、東西7m分を確認した。断面は逆台形である。埋土の最上位には多量の土師器皿片と炭及び焼土塊の集積層がある。主な出土遺物は15~16世紀の土器で、他に11世紀の北宋銭がある。土器の大半は土師器皿で、瓦質土器盤・鉢もわずかにみられる。形態や位置、出土遺物の時期から鬼蘭山城の堀の一部とみられる。

江戸時代の遺構には、掘立柱塀1条、溝1条、石組遺構1、埋甕遺構2と多数の土坑がある。全体に生活域である奈良町地域と似た様相を示し、複数の重複関係が認められる。SA02は柱間4間(6.4m)以上の南北方向の掘立柱塀。SD03は幅2m、深さ0.6mの東西方向の溝で、東西7m分を確認した。重複関係から発掘区西壁沿いの整地層より古い。16世紀末~17世紀の土器が出土した。SX04は平面方形の石組遺構。東西2.8m、南北4.2m、深さ1.1mの掘形の側面に沿って主に20~50cm大の花崗岩を積み上げて壁面を構築しており、その内法は東西1.2m、南北3mである。18世紀末~19世紀の土器や瓦が出土した。SX05・06は瓦質土器の埋甕遺構。前者は後述する土坑SK05との重複関係から18世紀以降、後者は埋土中から18世紀の土器片が出土したことからそれ以前と判断される。土坑は発掘区の全域でみられ、埋土中に土器片や瓦片を含むものが多い。SK07からは17~18世紀、SK08からは18世紀前半、SK09からは18世紀末~19世紀の土器が良好な

状態で出土した。

出土遺物は、主に江戸時代の土器と瓦で、他に銭貨等の金属製品がある。土器には、17~19世紀の土師器、瓦質土器、国産陶磁器(唐津・備前・信楽・瀬戸・伊万里等)があり、大半が碗、皿等の日用雑器である。一方、瓦の大半は丸瓦、平瓦、棟瓦である。軒瓦には巴紋軒丸瓦が52点、菊紋軒丸瓦が2点、三葉紋や横紋等の均整唐草紋軒平瓦や軒棟瓦が25点と、時期の遡る奈良時代の軒丸瓦(型式不明)が1点、鎌倉時代の軒平瓦が1点ある。鬼瓦や面戸瓦等の道具瓦の小片も数点出土している。

なお、礎石等の遺構は確認できなかつたが、石組遺構SX04、埋甕SX05・06は屋内の設備であることから、発掘区北半部付近に建物があつたことが推察される。この建物は土坑等の出土遺物から瓦葺きで庫裏に類するものとみられる。また遺構の分布から調査地内の平坦地が成身院造営に際し、造成された可能性が高い。



遺構平面図（第4発掘区） 1/250



第4発掘区全景（南から）



塗状遺構SD01全景（東から）



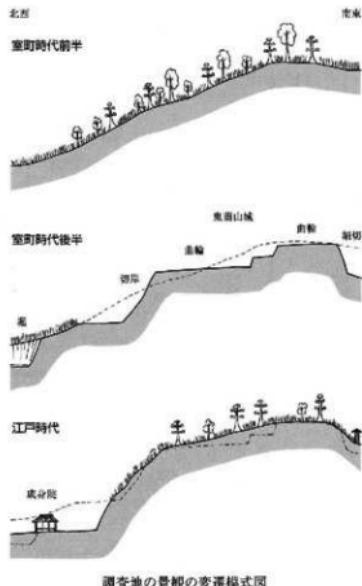
石組遺構SX04全景（南から）



埋葬遺構SX05全景（北西から）

Ⅲまとめ

今回の調査では、室町時代の鬼齒山城と江戸時代の成身院に関する知見が得られた。鬼齒山城については、第1~3発掘区の調査から、築城に際し東から西に細長く延びる段丘の上部とその周縁部の北~西斜面が造成され、前者では曲輪や堀切が、後者では高さ6~8m程度の切岸が設けられたが、尾花谷川に面した南斜面はあまり手が加えられていない様相が把握でき、また第4発掘区の調査から、北~西の切岸に接して堀が存在したことが把握できた。北~西斜面の切岸や堀は隣接する子院に対して防禦の意識が働いた結果と思われる。また、成身院については、第4発掘区の調査から、江戸時代前期に鬼齒山城の北~西斜面の切岸に接した斜面を平坦に造成した敷地に造営され幕末まで存続したことや、発掘区北半部付近に庫裏に類する建物が存在したことが把握できた。なお室町時代の薬師院の遺構は確認できなかったが、成身院造営により消失した可能性がある。（安井宣也）



調査地の景観の変遷模式図

(4) 元興寺旧境内・奈良町遺跡の調査 第50次

調査地は、平城京の条坊復原によると元興寺旧境内の西辺の中央南寄りで、東六坊大路に面する。この調査は、元興寺旧境内の西辺の確認を目的に行なった。発掘区内の層序は、上から造成土、黒灰色土、黄白色砂、暗褐色土、暗灰色砂質土、褐色砂質土で、地表下1.0mで黄灰色土の地山になる。地山上面の標高はおおむね85.0mである。

検出遺構は、平安時代末から鎌倉時代初頭の溝1条、室町時代の土坑2、時期不明の掘立柱列1条である。

SD01は、発掘区南半で検出した東西方向の溝である。北岸を確認した。規模は幅1.8m以上、深さ0.74mである。埋土は、上から黄褐色土、黄灰色砂質土、褐色粘土、淡黄灰色砂質土で、丸瓦、平瓦、軒丸瓦6201Aa1点、軒平瓦6733J1点、平安時代末から鎌倉時代初頭の瓦器椀、土師器皿・羽釜の小片が出土した。

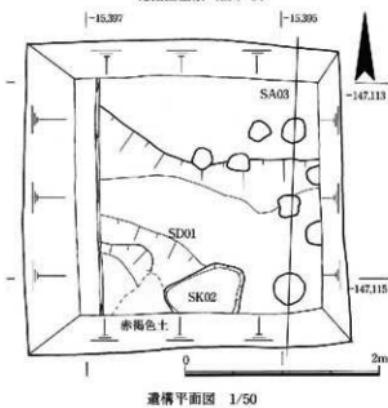


発掘区全景（西から）

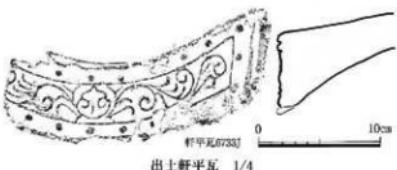
SK02は、発掘区南辺沿いで検出した平面不整形掘形の土坑。発掘区外南へ広がる。規模は東西0.8m、南北0.5m以上、深さ0.3mである。埋土は黒灰色土で、室町時代の土師器羽釜、瓦質土器鉢、陶器甕（常滑焼）の小片が出土した。

SA03は、発掘区東辺で検出した南北2間以上の掘立柱列。柱間寸法はそれぞれ0.8mである。埋土は黄褐色土で、出土遺物はなかったが、重複関係からSD01より新しい。

ほかに、発掘区西壁際で土坑を検出した。しかし、西壁崩壊の懼れがあり、調査を断念したため、規模は不明である。埋土は赤褐色土で、鎌倉時代の土師器皿・羽釜、瓦器椀、室町時代の瓦質土器鉢、陶器甕（常滑焼）の小片のほか、輪の羽口、鉄滓が多く出土した。また、発掘区南壁沿いの0.4~0.6mの範囲で、それより古いとみられる赤褐色土を検出した。疊、焼土を含む。軒丸瓦型式不明1点、鎌倉時代の土師器皿・羽釜、瓦器椀、青磁碗、室町時代の陶器甕（常滑焼）小片が出土した。なお、建物としてまとまらない径0.2mほどの柱穴がいくつある。埋土はいずれも黒灰色土で、軒丸瓦6235種別不明1点が出土した。（秋山成人）



遺構平面図 1/50



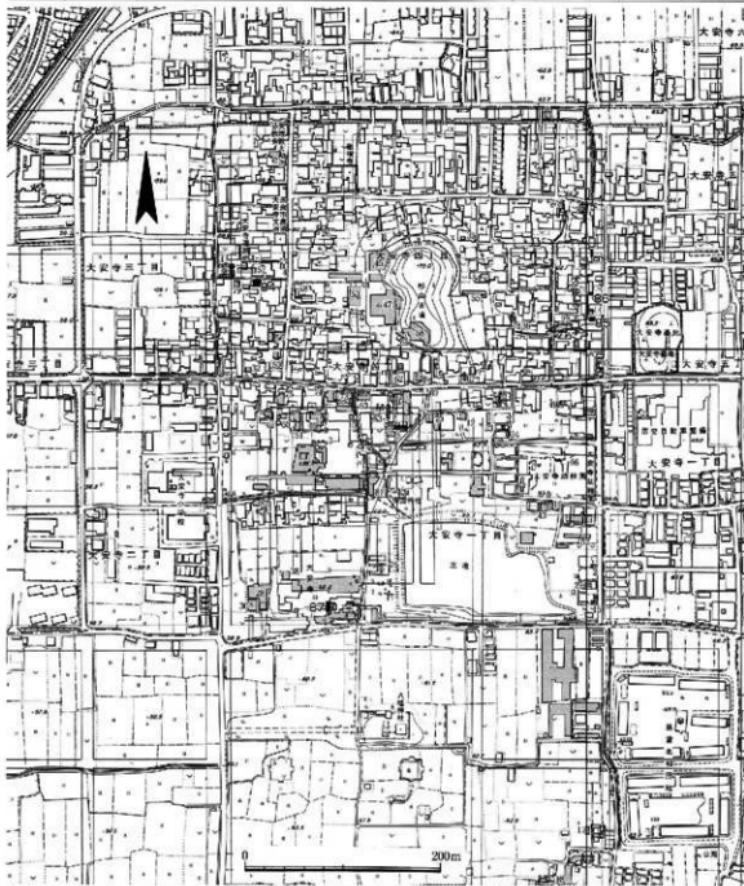
出土軒平瓦 1/4

2. 史跡大安寺旧境内の調査

史跡大安寺旧境内では、平成11年度に第84次から第87次までの4件の発掘調査を実施した。このうち、第84次調査と第85次調査はともに東面築地にあたることからまとめて報告する。

平成11年度 史跡大安寺旧境内発掘調査一覧

調査次数	調査者名	事業名	調査場所	調査期間	調査面積	調査担当者
84	木保 司	個人住宅改築	大安寺町104-4、106-1	H11. 4.1~ 4.26	42af	秋山
85	植木将一	個人住宅改築	大安寺5丁目89-1、88-2、96-2	H11. 5.25~ 6.11	33af	秋山
86	酒井敦子	自家用車庫の改築	大安寺6丁目300、300、957-17	H11. 8.17~ 8.25	15af	秋山
87		史跡大安寺旧境内保存整備事業	大安寺2丁目1289-1	H11.12.1~12.23	50af	黒田恵



史跡大安寺旧境内発掘調査位置図 1/6000

(1) 南大門の調査 第87次

大安寺南大門は、昭和29年の発掘調査により、桁行5間、梁間2間で、柱間は桁行、梁間ともに17尺等間の規模であったことが判明している。また、南大門東辺の発掘区では、基壇外装である凝灰岩製延石・地覆石を確認し、南大門東端が判明した。しかし、南大門西辺の発掘区では凝灰岩製基壇外装ではなく、正確な南大門西端の位置は判明しなかった。平成元年度のDA第38次調査では、未発掘であった中央間の北側部分についての調査が行われ、南大門の中軸線が確定した。そして、これらの調査成果から南大門西端の位置が想定できた。このため本調査は、想定できる南大門基壇の北西隅の確認を目的とし、面積約25m²の南北に長い発掘区を設けた。なお、本発掘区北辺の一部は、昭和29年の調査時の発掘区にあたり、再調査を行った。

発掘区内の基本的な層序は、上から、黒褐色の表土（約0.5m）、淡褐色土（約0.6m）と続き、地表下約1.1mで、炭と焼土を含む赤褐色土層となる。この赤褐色土層上面で、河原石を用いた石列を検出したため、この面で遺構検出を行なった。赤褐色土層上面の標高は、おおむね61.3mである。なお、発掘区北東隅では、淡褐色土直下（地表下約0.8m）で南大門基壇築成土が残存していた。

検出した遺構は、南大門基壇で、その築成土、北側基壇外装と河原石を用いた石列を確認した。基壇築成土は、0.03mから0.15mの厚さで丁寧に突き固められた版築によるものである。一部について、掘込地業の様相確認を行なった。掘込地業は、遺構検出面からの深さ約0.8mである。東西の掘込地業の範囲は1.6m以上で、発掘区外西へ続く。丁寧に突き固められた版築であるが、下部2層は厚さ約0.2mとやや厚い。掘込地業の埋土からは、凸面布日平瓦が出上した。なお、掘込地業の下で、西へ緩やかに下る落込みを確認した。発掘区外西へ続くが、溝か土坑かは不明である。遺物は出土しなかつたが、遺構の重複関係から大安寺創建以前の遺構と考えられる。

北側基壇外装は地覆石のみ確認した。長さ0.3m分を確認した。高さは約0.3mである。前面上角は段状に高さ約5cm、幅約8cmに欠き込んで面を施す。後面上角も同様に高さ約9cm、幅約8cmに欠き込んでいる。羽目石と組み合う相欠き仕口であろう。

河原石を用いた石列の石は14個を確認した。いずれも長さ30cm～40cmで、平坦面を上に据えられている。石の上面の標高は61.2～61.3mで、ほぼ水平である。また、北から1つ目と2つ目の石の間に半瓦が凸面を上に据えられていた。これは河原石の代用と考えられる。この石列の位置は、想定される西側基壇外装の位置とほぼ一致する。過去の南大門基壇外装の調査では、延石のかわりに、河原石の栗石を用いる箇所がいくつか確認されていることから、これもまた、西側地覆石の下に据えられた栗石と考えられる。注目すべき点は、栗石が据えられている層が炭と焼土を含む赤褐色土であることである。この層は掘込地業との重複関係が確認でき、掘込地業より新しいことがわかる。その層からは10世紀中頃から後半にかけての上器が出土した。これらのことから、南大門は後世に部分的に、延石をはずし、かわりに河原石の栗石を据える、基壇外装の据え替え作業がおこなわれたものと考えられる。文献では、南大門基壇外装の据え替え作業に関する記事はみられない。ただし、南大門は寛仁元年（1017）に火災に遭っていることが記載されている。赤褐色土から、炭や焼土とともに10世紀中頃から後半にかけての土器が出土していることから、据え替え作業が行なわれた契機は、寛仁の火災にともなう南大門の再建と思われる。

出土遺物は、瓦・土器などが遺物整理箱68箱分出土したが、大半が未整理のため、平成12年度以降に報告する予定である。

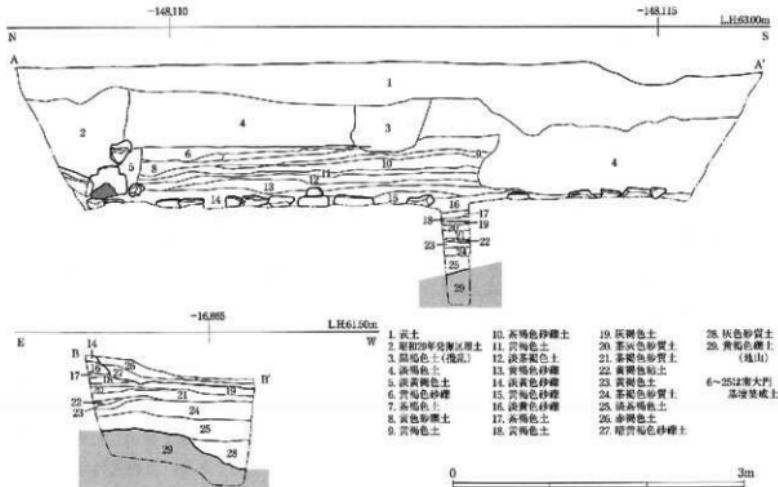
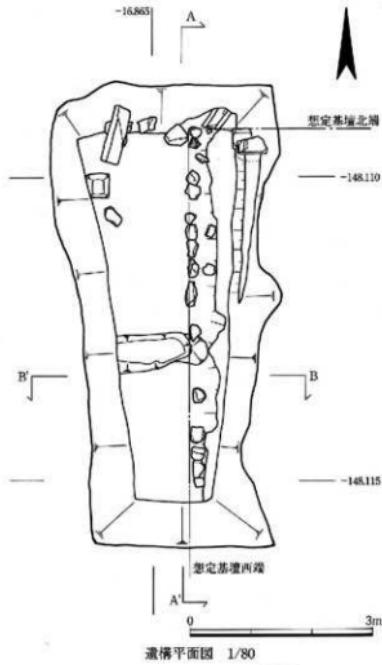
(原田憲二郎)



発掘区全景（北から）



発掘区全景（南から）



石列立面および発掘区東壁・南壁土層図 1/50

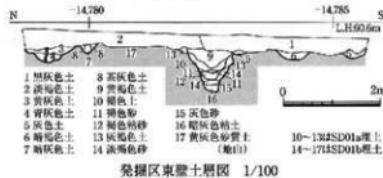
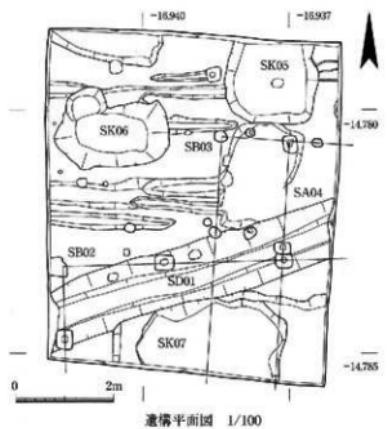
(2) 食堂并大衆院推定地の調査 第84次

調査地は、『大安寺伽藍縦起并流記資財帳』に記された「禅院食堂并大衆院」に推定され、大安寺旧境内の北西に位置することから、この地域の様相を明らかにするため調査を行なった。

発掘区内の基本的な層序は、黒灰色土、淡褐色土の下、地表下0.35mで黄灰色砂質土の地山になる。地山上面の標高は、おおむね60.1mである。



発掘区全景（北から）



検出遺構は、奈良時代の溝1条、平安時代の掘立柱建物2棟・掘立柱列1条・土坑2、室町時代の土坑1である。

SB01は、発掘区南側で検出した、北東から南西方向の断面V字形の溝である。埋土の堆積状況から改修がみられ、当初の溝aは、幅1.25m、深さ0.9m、長さ6m以上で発掘区外へ続く。改修後の溝bは、幅1.15m、深さ0.6mである。埋土は、上から黄褐色土、褐色土、褐色砂、褐色粘砂までが改修後の堆積、灰褐色土、淡褐色砂、灰色砂、暗灰土が改修前の堆積である。改修後の黄褐色土及び褐色土から奈良時代後半の土師器杯・皿・壺、須恵器杯・杯蓋・壺・壺が出土した。

SB02は、発掘区南側で検出した桁行3間以上、梁間2間以上の東西棟建物である。発掘区外へ続く。柱間寸法は、桁行が東から2.45m、2.1m、梁間が1.5mである。柱穴から平安時代前半の土師器皿が出土した。

SB03は、発掘区東側で検出した東西、南北とともに1間に上の掘立柱建物である。発掘区外へ続く。西側柱列の北から2間目の柱穴は、土坑SK07により削平され、残っていないと思われる。柱間寸法は、東西、南北とも1.95mである。柱穴から平安時代末の瓦器碗が出土した。

SA04は、発掘区東側で検出した南北1間に上の掘立柱列である。柱間寸法は2.1mである。北側の柱穴の底に石が据えてある。平安時代末の瓦器碗が出土した。

SK05は、発掘区北東で検出した平面丸方形掘形の土坑である。発掘区外へ広がる。規模は東西1.9m、南北1.65m以上、深

さ0.34mで、底は平らである。埋土は茶褐色上で、奈良時代の軒丸瓦6304Dが1点と平安時代前半の土器器皿、須恵器甕が出土した。

SK06は、発掘区北西で検出した平面不整形掘形の土坑である。規模は東西2.35m、南北1.7m、深さ0.37mで、断面U字形をなす。埋土は暗灰色土で、奈良時代の軒平瓦6716Cが1点と平安時代末の土器器皿・羽釜、瓦器椀、白磁碗、繡羽口が出土した。

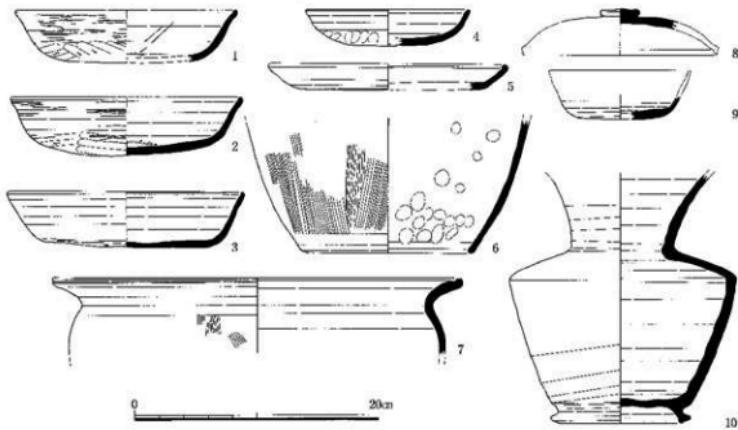
SK07は、発掘区南辺で検出した平面不整形掘形の土坑である。発掘区外南へ広がる。東西3.3m、南北1.54m、深さ0.38mで、底は平らである。埋土は淡褐色土で、奈良時代の軒丸瓦6138種別不明1点と室町時代の土器器皿・羽釜、瓦質上器鉢が出土した。

なお、発掘区中央付近で、建物としてまとまらない径0.2m前後の柱穴をいくつか検出した。
柱穴から平安時代末の瓦器細片が出土した。
(秋山成入)

出土遺物は、瓦埠が遺物整理箱1箱分、土器が1箱分である。SD01から奈良時代後半の土器器皿、須恵器がまとめて出土したので、これについて報告する。

土器器皿Aは、いずれも底部外面にケズリ調整しており、口縁部外面にミガキを行うもの(1・2)と行わないもの(3)がある。1の底部内外面には、それぞれ×状の線刻(焼成後)がある。杯C(4)と皿A(5)は、口縁部内外面にヨコナデ調整している。甕(6)の体部外面はハケメ調整しているが、内面は指頭圧痕が残る。甕(7)は、口径33.6cmの大型のもので、口縁部内面から体部内面にかけて煤が付着する。体部外面と口縁部内面の一部には、ハケメ調整がわずかに残っている。須恵器杯A(9)は、口縁部に比べて底部の器壁がかなり厚いのが特徴である。杯蓋(8)は、ロクロナデ調整している。壺Q(10)は、体部下半外面にロクロケズリ調整する以外は、すべてロクロナデ調整している。
(三好美穂)

今回の調査で確認した奈良時代の溝SD01は、方位が北で東に大きく振れ、また断面がV字形に掘削されていることから、道路側溝、または坪内を区画する溝とは考えがたく、特殊な用途のため設けられたと考えられる。また、平安時代前半と平安時代末の建物の存在を確認し、大安寺旧境内北西地域の変遷を考える上での成果を得た。
(秋山成入)



SD01出土土器 1/4

(3) 東面築地の調査 第85次・第86次

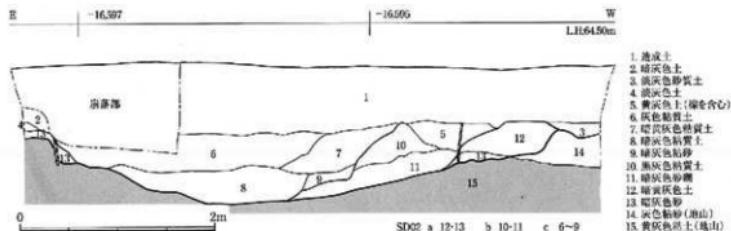
両調査地は、『大安寺伽藍縦起並流記資財帳』に記された賤院推定地にあたる。また旧境内地の東辺に位置することから、調査は東に面する坪境小路及び小路に沿った築地塀の検出を目的に行なった。第86次調査発掘区は、第85次調査発掘区から北へ約24m離れている。第85次調査発掘区の北東隣接地（DA第14次・昭和58年度）では、平面長円形掘形の時期不明の土坑を検出し、南東隣接地（DA第22次・昭和60年度）では、奈良時代の井戸、近世の平面円形掘形の土坑を検出している。また、南へ約45m離れたところ（DA第40次・平成元年度）では、奈良時代の溝、近世の土坑を検出している。

発掘区の層序は、上から造成土、黒灰色土（耕土）、暗灰色土、淡灰色土と続き、第86次調査発掘区では、地表下0.3mで黄灰色粘土の地山になる。地山上面の標高は63.7mである。第85次調査発掘区では、地表下0.6mで黄灰色粘土及び灰色粘砂の地山になる。地山上面の標高は63.7m。

検出遺構 奈良時代の溝（SD01）、室町時代の溝（SD02・03）、土坑（SK04）がある。

SD01は、第86次調査発掘区北半で検出した東西方向の溝である。長さ2.3m分を確認した。南岸は確認したが、北岸の位置は不明である。規模は、幅1.9m以上、遺構面からの深さ0.35mである。埋土は黄褐色砂質土である。奈良時代の平瓦と土師器、須恵器の小片が出土した。

SD02は、第85次・第86次両調査発掘区で検出した断面U字形の南北溝である。検出した位置からみてほぼまっすぐにのびる同一の溝と判断した。埋土の堆積状況は、両発掘区とも同様で、溝は少なくとも3回の改修があると考えられる。古い順にa・b・cとすると、aは、幅5.5m強で、遺構面からの深さは0.48mまで確認した。埋土は、上から暗黄灰色土、暗灰色砂の二層を確認した。bは、推定幅4.1m、遺構面からの深さ0.8mである。両岸の一部に土留めの木杭が打ち込まれており、第85次調査発掘区の南壁沿いで確認した。埋土は、上から黒灰色粘質土、暗灰色砂砾の2層を確認した。cは、幅3.5m、遺構面からの深さ0.7mである。西岸沿いに0.9m間隔で人頭大的河原石が3個並んでいるのを第85次調査発掘区で確認した。埋土は大きくみて2層あり、上層は灰白色粘質土と暗黄灰色粘質土、下層は暗灰色粘質土と暗灰色粘砂である。重複関係からいざれもSD01より新しい。それぞれの溝心の国土座標は、aがX=-147,820.980、Y=-16,594.000（推定）、bが両岸の木杭間でX=-147,820.980、Y=-16,593.850、cがX=-147,820.980、Y=-16,593.100であり、改修のたびに溝は幅を減じながら、西に寄っている。古墳時代中期の埴輪の小片と、丸瓦、平瓦、奈良時代の土器、室町時代（15世紀中頃～16世紀）の土師器、瓦質土器、国産陶器、輸入陶磁器が出土した。その大半はSD02b・cの埋土からである。



第85次調査発掘区南壁土層図 1/50

SD02の性格を考えるために、まず、平城京の条坊との関係をみてみる。大安寺旧境内の東を限る東四坊坊間東小路西側溝は、DA第40次調査で確認しており、また、やや離れるが、HJ第379次調査（平成9年度）でも確認している。この2つの調査例から今回の発掘区付近の西側溝清心を求めるに、SD02a心が東に5.387m、b心から東に5.237m、c心から東に4.487m離れている。したがって、SD02は奈良時代の道路側溝をそのまま室町時代に使用したとは考えがたく、室町時代に新たに掘られたものと考えられる。なお、DA第14次調査発掘区は、小路西側溝とSD02との間に位置しているものの南北溝は検出していないので、溝が二重であった可能性は低い。また、史料によると大安寺周辺は、応仁・文明の乱（1467～1477）の舞台となったことが記されており¹⁾、溝SD02はその際の防御施設の一部として利用されたと考えられる。

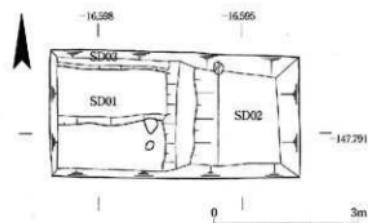
SD03は、第86次調査発掘区北辺沿いで検出した断面U字形の東西溝である。長さ2.2m分を確認した。南岸は確認したが、北岸の位置は不明である。規模は、幅0.33m以上、遺構面からの深さ0.18mである。埋土は褐色土で、遺物は出土しなかった。SD02との重複関係からみて、SD03の東端はSD02bの時期にこれと接続していたと思われる。底の標高は、SD02より0.82m高いことからSD02へ流れ込む水路であると考えられる。また、SD01より新しい。

SK04は、第85次調査発掘区西北隅で検出した平面円形掘形の土坑である。規模は東西0.83m以上、南北1.6m以上で、掘形の西側と北側は発掘区外へ広がる。遺構面からの深さは0.36mである。垂直に掘り込まれ、底は平らで、曲物の痕跡が残る。埋土は黒灰色粘質土である。重複関係からSD02より新しい。丸瓦・平瓦、室町時代（16世紀）の土師器皿・羽釜が出土した。曲物を据え置いていたと思われるこのような形態の土坑は、大安寺旧境内のこれまでの調査でも数例確認されている。（秋山成人）

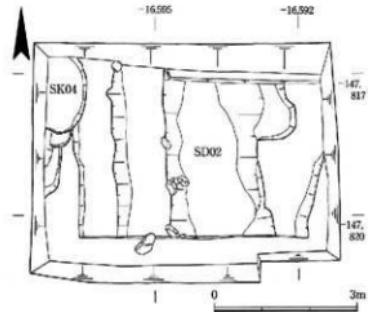
1)『大乗院寺社雜事記』 文明七年五月二日「(中略) 鍛井為木津用心隣攻大安寺了」



第86次調査発掘区全景（東から）



第86次調査遺構平面図 1/100



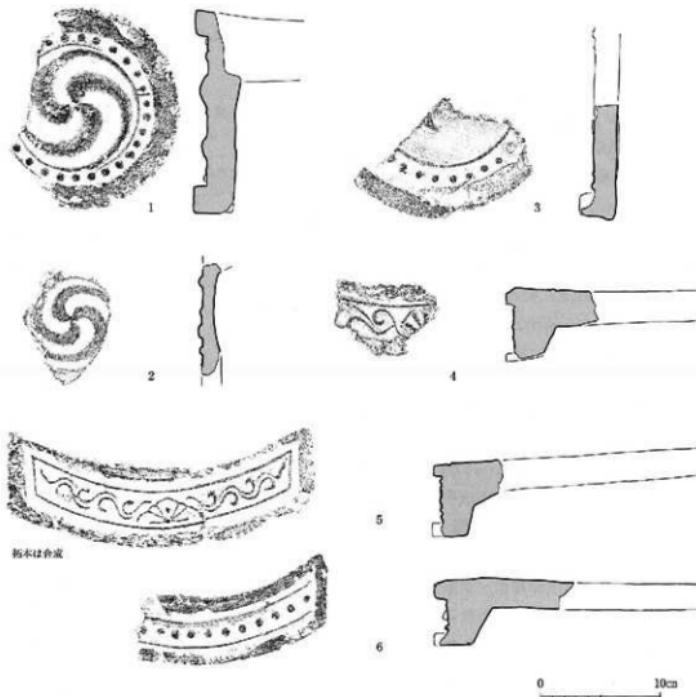
第85次調査遺構平面図 1/100



第85次調査発掘区全景（西から）

出土遺物 両発掘区で出土した遺物には、土器・埴輪、瓦塼がある。大半は溝SD02からの出土である。

瓦塼 遺物整理箱16箱分出土した。大半は丸瓦と平瓦で、そのほかに軒丸瓦8点、軒平瓦15点、熨斗瓦3点、塼5点がある。軒丸瓦の内訳は6138Ca 1点、平安時代以降のもの7点である。軒平瓦の内訳は6690A1点、型式不明3点、平安時代以降のもの11点である。6138Caと6690AはSD02から出土した。以下は平安時代以降の軒瓦について述べる。1は右巻きの三巴紋軒丸瓦である。巴同士の頭部は接続していない。外区に珠紋があるが、界線は無い。巴の尾に範衛を確認できる。瓦当下半部側面は横方向のナデを施している。SD02から1点出土した。2は小型の右巻き三巴紋である。巴同士の頭部は接続している。SD02から1点出土した。3は「大」の字を上に、その右下に「安」を、左下に「寺」を配した文字紋軒丸瓦の小片であると考えられる。界線により内区と外区に分かれ、外区に珠紋をめぐらしている。瓦当下半部側面は横方向の強いナデを施している。SD02から1点出土した。4は半截花紋を中心飾りとする均整唐草紋軒平瓦と考えられる。内区と上外区を分ける界線がある。上外区は素紋である。瓦当上縁はケズリによる面取りを行なっている。頸は段頸である。SD02から1点出土した。5は半截花紋を中心飾りとする5回反転均整唐草紋軒平瓦である。界線により内区と外区とを分ける。外区は素紋である。西大寺343B型式²⁷と



出土瓦 1/4

同範の可能性が高い。額は瓦当貼付け式の段額である。額部には凹型調整台の圧痕が確認できる。凹面はナデを施しているが、部分的に布目痕が残る。SD02から5点、暗灰色土から1点出土した。6は連珠紋軒平瓦である。界線は下のみにある。上外区は素紋である。瓦当上縁はケズリによる面取りを行なっている。額は瓦当貼付け式の段額である。額部には凹型調整台の圧痕が確認できる。凹面は布目痕が残るが、側縁付近は縦方向にケズリを施している。SD02から1点出土した。なお、他に平安時代以降の軒丸瓦は4点、軒平瓦は7点出土したが、いずれも小片で紋様が判明するものは無い。丸瓦・平瓦の出土遺構ごとの点数・重量の内訳は表のとおりである。なお、出土した平瓦のうち平安時代以降と考えられるものは49点(6.6kg)ある。壇および熨斗瓦はいずれも小片で、大きさがわかるものが無い。

(原田憲二郎)

土器・土製品 両調査発掘区合わせて遺物整理箱9箱分が出土した。大半がSD02から出土した室町時代(中世後半)の土器であり、これについて報告する。ただし、古墳時代の埴輪(家形・蓋形・朝顔形)及び奈良時代の上師器蓋・須恵器杯・壺・鉢も少量含まれる。

第85次発掘区で805点、第86次発掘区で586点が出土した。第85次発掘区と第86次発掘区では国産陶器の出土数に差がみられるが、いずれも土師器羽釜が半数またはそれ以上を占め、瓦質土器・浅鉢・深鉢がこれに次ぐ。これらの土器は15世紀の後半を前後する時期のものと考えられる。1~25は第85次調査発掘区から出土した。1~7は土師器皿である。色調は、1・2・5~7が白色系、3が赤色系、4が灰色系である。8~14は上師器羽釜で、人和I型(8・9)、H型(11・12)、H₂型(10)、H₃型(13・14)がある³⁾。いずれも体部をタタキ成形する。16~17は中国製青磁碗で龍泉窯系である。16の外面には線刻の蓮弁紋がある。18は中国製と考えられる小壺で、内外面には褐釉を施し、外底面は露胎で回転糸切り痕がある。19は信楽窯の壺で、口縁部から肩部にかけて自然釉が掛かる。信楽窯の壺はほかに2個体分出している。国産陶器はほかに瀬戸美濃窯の半茶碗・天日碗、信楽窯の擂鉢がある。信楽窯の擂鉢には3条で1単位の擂目がある。15・20~25は瓦質土器で、15が行灯、24が浅鉢、20が方形浅鉢、21・22・25が深鉢、23が擂鉢である。15は中央の油皿を受ける台を欠損する。内外面とも灰白色であり、炭素の吸着は見られない。外面には横方向のミガキ調整をする。20~22は口縁部外面に凸帯2条を平行に貼り付け、その間に20は花紋と思われるスタンプを連続して、21・22はそれぞれ花菱紋・梅花紋と思われるスタンプを一定間隔で押捺する。20は口縁部内面に剥離痕があり、口縁部は内方に屈曲したものと思われる。底にも脚の剥離痕がある。炭素の吸着は内面のみで、外面は灰白色である。23は内面に板状工具によるナデの後、9条1単位の擂目をいれる。外面にはユビオサエの後、下半部に粗いタテハケと口縁部にヨコハケを施す。24は外面と口縁部上面にミガキ調整、内面にナデ調整する。25は内外面ともにナデ調整の後、口縁部をヨコナデする。

(中島和彦)

丸瓦及び平瓦の出土点数と重量(単位はkg)

	丸瓦						平瓦						不明						合計		
	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	
SD01	0	0	7	0.63	0	0	7	0.62													
SD02	256	51.1	393	96.88	57	3.26	906	161.23													
SK06	2	0.38	5	0.57	1	0.04	8	0.99													
遺物名合算	1	0.09	11	1.36	2	0.08	14	1.63													
合計	259	51.57	616	99.29	60	3.27	935	164.17													

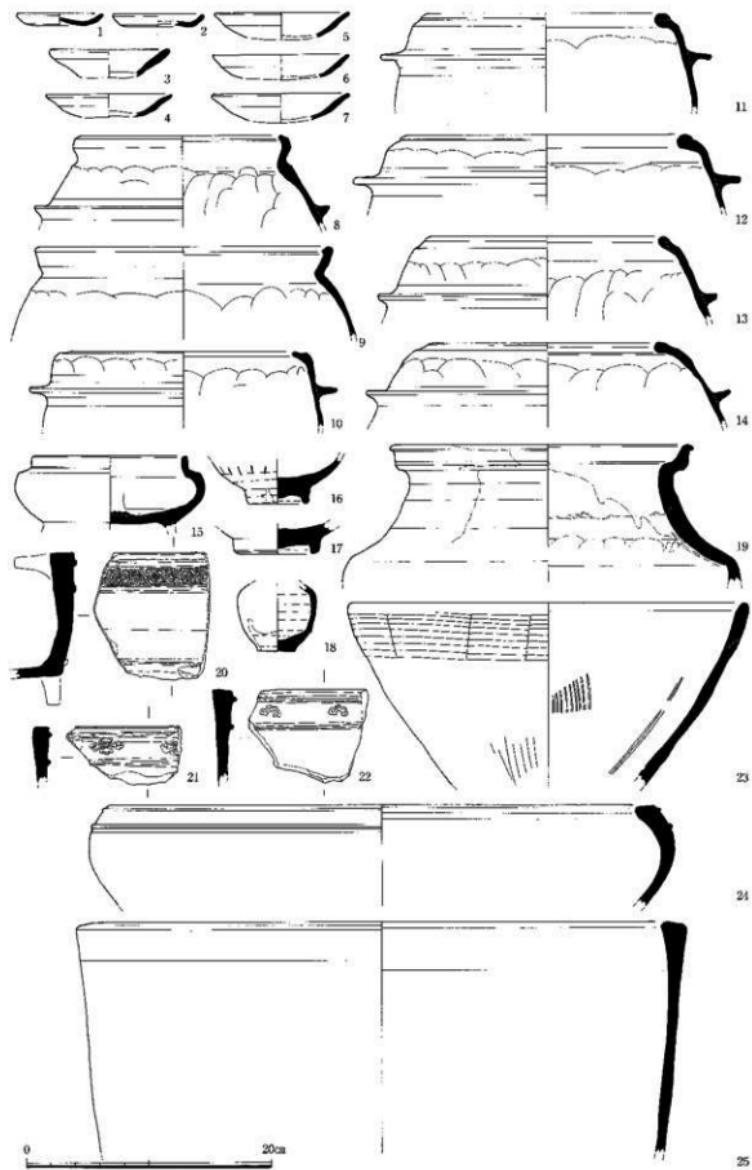
SD02出土上器の器種構成と出土点数

種類	器種	第85次			第86次		
		点数	%	点数	%	点数	%
上器	壺	361		4			
	鋤頭	378		512			
小計		434	53.9	516	88.1		
	壺	74		13			
	鋤頭	1		1			
	浅鉢	198		43			
瓦質土器	方型浅鉢	2		0			
	羽釜	4		0			
	行灯	6		0			
	盃	0		1			
小計		384	35.2	57	9.7		
	壺・皿	12		3			
田園用器	壺・瓶	69		8			
	鋤頭	0		1			
小計		81	10	13	2.2		
	青磁碗	5		0			
	擂鉢小盤	1		0			
輸入陶器	小計	6	0.9	0	0		
合計		805	100	566	100		

2) 奈良県立文化財研究所「西大寺防災施設工事・発掘調査報告書」1990

3) 菅原正明「畿内における上器の製作と流通」「文化財論叢」奈良県立文化財研究所 1983

史跡大安寺旧境内の調査 第85次・第86次



SD02出土土器（第85次調査） 1/4

3. 西大寺旧境内の調査 第13次

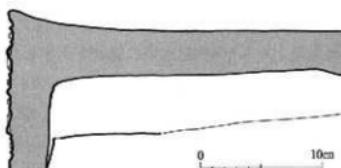
事業名 共同住宅建設
 届出者名 山田米作
 調査次数 西大寺 第13次
 調査地 西大寺芝町2丁目2552-1、-2
 調査期間 平成11年8月2日～8月12日
 調査面積 75m²
 調査担当者 中島和彦

調査の概要 調査地は、西大寺旧境内の南西辺で、南には川が東流する。事前の試掘調査の結果、遺構面が確認されたため発掘調査を行なった。

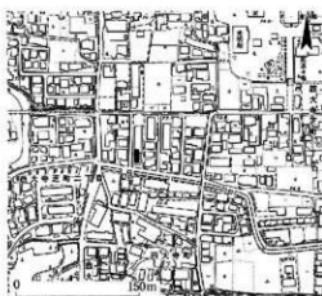
発掘区内の層序は、発掘区南側で、上から造成土、耕土、淡灰褐色土、橙褐色土、淡茶灰色土、淡灰色砂質土とつづき、現地表下約0.8m（標高約72.5m）で明青灰白色砂質土の地山となる。遺構面は、地山上面で、SD05のみ淡茶灰色土上面から掘られる。

検出した遺構には、奈良時代の掘立柱建物2棟、掘立柱塀2条、溝1条、土坑1と奈良時代以前の自然流路1条がある。建物はすべて発掘区外に続き、全容は不明である。掘立柱建物SB01は、南北3間分を検出した。柱間は2.4m等間である。柱抜き取り坑から奈良時代前半の土器と瓦が出土した。掘立柱塀SA03は、南北6間分を検出した。柱間は2.25m等間である。東西溝SD05は、幅約1m、深さ約0.6mある。瓦が出土した。自然流路は、幅約2.5m、深さ0.7m以上で、灰色砂で埋まる。出土遺物は無く、明確な時期は不明である。（中島和彦）

出土遺物は、遺物整理箱1箱分の土器と10箱分の瓦がある。瓦については、丸瓦、平瓦のほかに、軒丸瓦が3点あり、その型式の内訳は6313D、6314Aと平城京内でこれまで知られていなかったもの（下図）が各1点ある。下図の瓦は、丸瓦部側縁に布目压痕があるので横置型一本作りと考えるが、丸瓦部凹面から瓦当裏面にまで及ぶ布目压痕については、凹面の継方向のナデ、裏面の継方向のケズリのため、確認できない。なお、瓦当裏面端縁に横方向の、丸瓦部凸面に継方向のケズリ、瓦当下半側面に横方向のナデがみられる。（山前智敬）



出土瓦 1/4

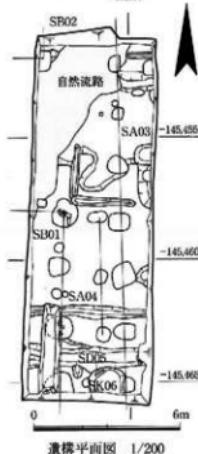


発掘区位置図 1/6,000



発掘区全景（北から）

-20.130



遺構平面図 1/200

4. 菅原寺旧境内の調査 第4次

事業名 共同住宅建設

届出者名 中城直一

調査次数 菅原寺 第4次

調査地 宝来2丁目854-1

調査期間 平成11年7月15日～8月4日

調査面積 272m²

調査担当者 武田和哉

調査の概要 本調査地は、平城京の条坊復原では、右京三条三坊十四坪の南東部分に該当している。安元元年（1175）成立の「行基年譜」に所引の史料「行基菩薩伝」には、「菅原寺 在右京三條三坊九坪十坪十四坪十五坪十六坪」と見えることから、十四坪は菅原寺旧境内地として推定されている。当該地内における過去の調査事例は4件（市KK第1次・昭和61年度、市KK第2次・平成6年度、市KK第3次・平成7年度、国1969年調査）あるが、同坪内の発掘調査は今回が初めてである。

発掘区の層序は、黒灰色土、暗灰色砂質土（ともに耕土）以下、暗黃灰色粘質土、暗褐色土（ともに遺物包含層）、淡黃灰色粘質土もしくは暗茶褐色土（ともに整地層）と続き、地表面下約0.5mで暗褐色粘土上の地山となる。遺構面は淡黃灰色粘質土上面で、標高は75.0～75.2mである。

検出した主要な遺構には、奈良時代以降の掘立柱建物5棟・塀6条、井戸2基、土坑3がある。

SB01は、発掘区中央北寄りで検出した南北棟建物。梁間2間（4.2m）で、桁行は2間（4.2m）分を検出した。SB02は、東西棟建物。桁行4間（8.4m）で、梁間は1間（1.8m）分を検出した。SB03は、発掘区東南隅で、東西1間（1.8m）分、南北2間（2.4m）分を検出した。SB04は、東西2間（3.6m）で、南北は1間（1.2m）分を検出した。SB05は、発掘区南辺中央で検出した東西棟建物。桁行4間（7.8m）で、梁間は1間（1.2m）分を検出した。重複関係からSB04や後述のSE12よりも新しい。

SA06は、南北2間（3.6m）分を検出した。SB01の西側柱列と重複し、それよりも古い。SA07は、東西1間（3.6m）分を検出した。重複関係からSB01より古く、SA02より新しい。建物の一部である可能性もある。SA08は、発掘区北東隅で、南北3間（5.0m）分を検出した。SA09は、南北3間（5.4m）分を検出した。SA10は、東西4間（8.4m）の掘立柱塀。東端はSA09の南端と接続する。SA11は、発掘区南西で、東西2間（5.1m）分を検出した。建物である可能性もある。

SE12・13は、発掘区南辺中央で検出した井戸。SE12は、径約3.0m、遺構面からの深さは約1.9mである。重複関係からSE13やSB05よりも古い。SE13は、径約2.3m、遺構面からの深さ約2.2mで、掘形底部中央に径約0.4m、深さ約0.25mのくぼみがある。ともに枠材は残存せず、抜き取られたものと思われる。いずれも埋土からは8世紀末頃の遺物が出土した。

SK14は、発掘区東側で検出した土坑。東西約3.5m、南北約8.5mの平面不整形を呈し、遺構面からの深さは0.3mである。埋土から8世紀後半頃の遺物が出土した。SK15は、発掘区中央で検出した土坑。径約2.0m、遺構面からの深さは約0.25mである。SK16は、東西約5.0m、南北約3.4m、遺構面からの深さは約0.3mである。いずれも埋土から8世紀末頃の遺物が多く出土した。

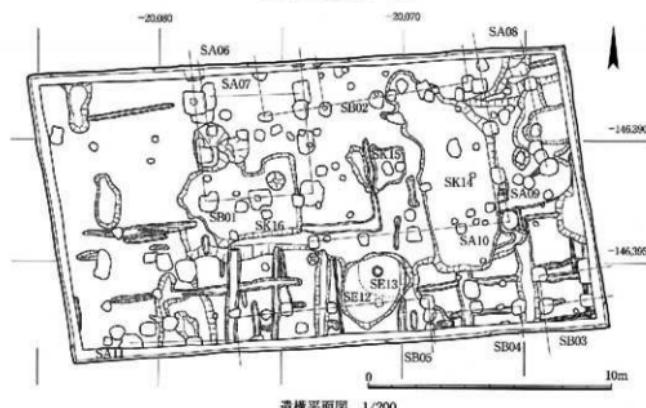
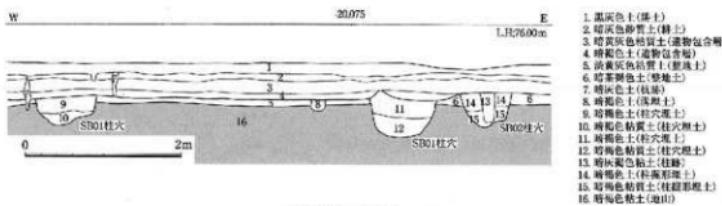


発掘区位置図 1/6,000

出土遺物は、遺物整理箱22箱分ある。大半が奈良・平安時代の土器や瓦である。軒瓦は、総数で9点出土した。その内訳は、軒丸瓦が6284種別不明1点と型式不明3点で、軒平瓦は6646A、6664C、6682A、6711Aa、型式不明が各1点ずつである。

調査の結果、整地は、含まれる遺物の型式からみて、8世紀末から9世紀前半にかけての時期と推定される。建物や塀の大半は整地後に施工されており、長岡京遷都以降に比定される。さらにその後、複数時期にわたる変遷も認められ、平城京廃絶経過を考察する上では重要な成果と言える。

また、建物や塀の方位は、北で西方に若干振れる。こうした背景には、まず調査地周辺が丘陵地の末端部に該当しており、当時の土地利用上で地形的な制約が存在したためと思われる。あるいは、長岡京遷都後の条坊制真更などの変化による影響とも考えられる。
(武田和哉)



発掘区全景（東から）



発掘区全景（北から）

5. 史跡春日大社境内の調査 第1次・第2次

事業名	第1次 春日大社バス乗務員待機所建設 第2次 春日野観光便所建設
届出者名	第1次・第2次とも 奈良市長
調査次数	春日大社 第1次・第2次
調査地	第1次 春日野町字野守 第2次 春日野町160-1
調査期間	第1次 平成11年10月25日～10月28日 第2次 平成11年10月28日
調査面積	第1次 20m ² 第2次 14m ²
調査担当者	第1次・第2次とも 中島和彦

調査の概要

第1次調査 発掘区内の層序は、厚さ約10cmの表土の直下で淡茶灰色の地山となる。地山面の標高は約131.0mである。遺構検出は地山上面で行ったが、近現代の擾乱坑のみで遺構は確認できなかった。表土からは瓦片が少量出土した。調査地は東から西に向けて緩やかに下降してゆく地形上にあり、周辺は広い範囲にわたって駐車場として造成されている。調査地はこの緩斜面を段状にした平坦面のひとつであり、東側の駐車場より約0.5m低く、西側の道路面より約0.8m高くなっている。これらのことから調査地内は、駐車場造営時に削平されたものと考えられる。

第2次調査 調査地は御笠山の麓から西へ緩やかに下降する斜面地にあたり、春日若宮神社から南へのびる道の西側にある。発掘区内の層序は、表土、茶褐色粘質土、淡茶褐色粘質土で、地表下約0.7mで黄灰色土の地山になる。地山面の標高は発掘区東側で約140.3m、西側で約139.8mである。遺構検出は地山上面で行ったが、遺構は確認できなかった。茶褐色粘質土、淡茶褐色粘質土からは近世以降の土師器皿の破片が少量出土した。
(中島和彦)



発掘区位置図 1/6,000



第1次調査 発掘区全景（北から）



第2次調査 発掘区全景（南から）

III. その他の調査

1. コナベ古墳の調査 第3次

事業名 市道中部第184号線新設改良工事
届出者名 奈良市長
調査次数 コナベ古墳 第3次
調査地 法華寺町1805-1、-2
調査期間 平成11年11月10日～11月19日
調査面積 77m²
調査担当者 原田憲二郎

調査の概要 調査地はコナベ古墳東側外堤にあたる。現状はコナベ池東側堤の西斜面である。築造当初の外堤上に現在のコナベ池の堤があると予測された。調査は北・南の2箇所の発掘区を設定して行なった。

北発掘区では、黒褐色の表土（厚さ約0.6m）のすぐ下が、地山である淡茶褐色の砂疊層である。地山上面の標高は約75.7mである。地山面は西へ急勾配で約0.4m下り、さらに緩やかに西へ下る。この斜面が、築造当初のコナベ古墳外堤の名残を留めているものと思われる。ただし、大きく削平をうけているため、円筒埴輪列や葺石などの外表施設は残っていないかった。なお、過去の調査成果では、コナベ古墳外堤は盛土をせず、地山整形のみで造られていると考えられている。

南発掘区では、黒褐色の表土（厚さ約0.2m）の下で淡黄白色土、淡黄褐色土の盛土を、さらにその下で淡黄褐色粘土の地山を確認した。地山上面の標高は約74.5mである。淡黄白色土は地山面を約0.6m掘り下げた後、盛られており、また、地元の人から昭和のはじめ頃に堤が崩壊したため、その後の修築工事をしたときに盛られたものであるということを聞いた。淡黄褐色の盛土内には少数であるが、奈良時代の須恵器・土師器と瓦質土器、陶器が含まれているため、これも築造当初のものではないとわかる。これらのことから、築造当初の外堤の位置は明らかにできなかった。現況の地形からみて、後世に池の貯水量を増すため築造当初の外堤を削平し、その東側に濠を広げて新たに土を盛り上げ、現在の堤を築いたとも考えられる。なお、土器、瓦、埴輪、鉄製品が両発掘区あわせて遺物整理箱1箱分出土した。

（原田憲二郎）



発掘区位置図 1/6,000



北発掘区全景（北から）



南発掘区全景（北から）

2. 試掘及び確認調査

平成11年度は、遺構の有無を確認するために、奈良県教育委員会の指導のもと、17件の試掘及び確認調査を実施した。その結果を以下の表に示した。そのうち、良好な遺構が発見された3件（番号3・8・18）については、届出者と協議し、本調査を実施した。そのうち、3・8の調査成果は、それぞれ本報告書に別に掲載したので参照されたい。また、18については平成12年度に本調査を実施した。なお、調査番号は、実施した順序で付したものである。

番号	遺跡名	調査地	調査日	調査面積	届出者名／事業内容	届出受理番号
1	左京四条六坊八坪	十三条町13	H11.4.6～4.9	100m ²	西第一勧業銀行：銀行店舗建設	H110 : 3215
	調査結果	中近世の井戸、土坑を検出したが、大半は既存建物の基礎によって壊されていた。				
2	左京一丁目九坪	芝辻町4丁目72	H11.7.5	28m ²	医療法人岡谷会：診療所新築	H110 : 3310
	調査結果	流路を検出した。奈良時代の遺構面は、この流路によって壊されていた。				
3	西寺丁目境内	西大寺芝町2丁目2652-1、-2	H11.7.15	25m ²	山田米作：共同住宅新築	H110 : 3146
	調査結果	奈良時代の柱穴、土坑を検出したため、本調査を実施した。（SD第13次調査）				
4	元興寺跡境内	不審ヶ辻町4、3、4	H11.7.19	18m ²	森閑泰雄：共同住宅新築	H11 : 3034
	調査結果	谷地形を検出した。奈良時代の遺構面は、谷の流路によって壊されていた。				
5	西一坊大路	七条町1丁目409、1090-2	H11.8.26	8m ²	大和住宅：分譲住宅新築	H11 : 3070
	調査結果	中近世の土坑を検出したが、「工事断面は遺構面に達しない」。				
6	左京五条六坊三坪	西木辻町110-26	H11.9.2	27m ²	学校法人愛学塾：学校増築	H11 : 3067
	調査結果	近世の池の堤、土坑を検出したが、奈良時代の遺構・遺物は無かった。				
7	左京九条二坊十坪	西九条町2丁目57	H11.9.20	18m ²	(仮)西九条集会所改善対策委員会：集会所改修	H111 : 3141
	調査結果	柱穴、土坑を検出した。工事基礎は遺構面に達しない。				
8	左京四条四坊七坪	三条吉原町236-3	H11.10.5	80m ²	吉木工商店：共同住宅新築	H11 : 3083
	調査結果	奈良時代の柱穴、中世の流路を検出したので、本調査を実施した。（HJ第435次調査）				
9	左京一丁目四坊四坪	芝辻町3丁目12-10	H11.10.13	12m ²	例近鐵建設設置会：事務所新築	H11 : 3131
	調査結果	流路を検出した。奈良時代の遺構面は、この流路によって壊されていた。				
10	右京一条北二坊四坪	山腰町16	H11.10.22	10m ²	御古間コンサルタント：店舗新築	H11 : 3142
	調査結果	古墳時代前期の溝を検出したが、建物基礎は遺構面に達しない。				
11	秋篠町遺物散布地	秋篠町1180-43	H11.11.2～11.4	102m ²	公社社：葬祭場建設	H11 : 3164
	調査結果	既に造成工事によって、地形変形をとどめてしまった。				
12	左京一条六坊二坪	阪新尾町5-1、-2、6	H11.11.11	18m ²	宇寿美幸：共同住宅建設	H11 : 3096
	調査結果	小近世の柱穴を検出した。建物基礎は遺構面に達しない。				
13	左京二条六坊北郊	法蓮町1274-1の一部	H11.11.15	29m ²	オーエス・ハウジング：宅地造成	H11 : 3093
	調査結果	沿沢橋跡を検出したが、奈良時代の遺構・遺物は無かった。谷地形の一部であろうか。				
14	左京二条四坊一坪	芝辻町4丁目12-7	H11.11.19	35m ²	西川辰司：事務所付ホテル建設	H09 : 3208
	調査結果	流路を検出した。奈良時代の遺構面は、この流路によって壊されていた。				
15	左京三条五坊八坪	芝辻町1丁目180-1、81-2	H11.11.24	20m ²	大澤元和分教會：教会及び住宅新築	H11 : 3174
	調査結果	流路を検出した。奈良時代の遺構面は、この流路によって壊されていた。				
16	南紀寺跡	白毫寺町807-1、-2	H11.12.14～12.22	167m ²	奈良市長：ため池整備	H11 : 3194
	調査結果	古墳時代の溝1条を検出したが、T工事の基礎は、溝の上面までとどまる。				
17	左京一丁目六坊三坪	油坂町455-4	H12.2.8	22m ²	細谷田ビル：事務所ビル新築	H11 : 3141
	調査結果	奈良時代の井戸1基を検出したが、底の一部が残るもので、遺構面は近世の造成によって壊されている。				
18	左京四条二坊十六坪	二条添川町125-4	H12.3.22	16m ²	クボタハウス㈱：共同住宅新築	H11 : 3286
	調査結果	奈良時代の遺構面、遺物包含層を検出したため、本調査を実施した。（HJ第442次調査）				

そのほかに、水間町遺物散布地で、平成12年度に実施する本調査を行う上で、必要な資料を得るために、試掘調査を実施した。下表の通りである。

遺跡名	調査地	調査日	調査面積	届出者名／事業内容	届出受理番号
水間町遺物散布地	水間町107、112、118、ほか	H12.2.21～3.24	1265m ²	北土地改良事業所長：麻宮漸堂整備事業	H11 : 3271

3. 工事立会

提出された埋蔵文化財発掘届出書及び現状変更等許可申請書に基づいて、文化庁・奈良県教育委員会から奈良市教育委員会が土木工事に立会うようにと指示されたもののうち、平成11年度に実施したものは、下記の表の通りである。

57条2・3（周知の埋蔵文化財包蔵地内の届出・通知）

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	事業内容	届出受理番号	現況	立会結果
1	11.04.01	右京一塙四坊十六坪	雪原町646、662-3	永井木床	宅地造成	H10 : 3177	水田	現GL-0.65mで地山削削
2	11.04.01	一塙北大路	西大寺北町1丁目 276-1、277-1	松岡隆志	個人住宅新築	H10 : 3266	宅地	現GL-1.1mまで掘削、作土内
3	11.04.02	秋篠町出土城跡	秋篠町117-1	岩本秀雄	流通センター建設	H10 : 3273	畠地	現GL-0.5mで地山削削
4	11.04.06	右京二塙二坊1坪	青野町49、50	木本佳久子	共同住宅新築	H10 : 3286	宅地	現GL-0.3mまで掘削削削
5	11.04.06	元興寺跡境内	中院町30	齋月三郎	個人住宅新築	H10 : 3286	宅地	現GL-1.0mまで掘削削削、造土内
6	11.04.07	元興寺跡境内	光明院町10	北郷浩治	店舗付き住宅建設	H10 : 3261	宅地	現GL-1.0mで地山削削
7	11.04.08	左京一塙七坊十三坪	東包尾町71-2	渡本 遼	事務所新築	H10 : 3253	宅地	掘削なし
8	11.04.09	左京一塙二坊1・2坪	法華寺町1363-17の一部	川崎末雄	共同住宅新築	H10 : 3302	宅地	現GL-0.4mで地山削削
9	11.04.12	左京一塙三坊九坪	法華寺町1315-3	荒木武一	個人住宅新築	H10 : 3285	宅地	現GL-0.8mまで掘削削削、造土内
10	11.04.13	右京二塙一坊十二坪	雪原町232-31	飯田智雄・飯田真美	個人住宅改築	H10 : 3269	宅地	現GL-0.5mまで掘削削削、造土内
11	11.04.14	左京六塙一坊十一坪	柏木町390-2	多田和代	個人住宅改築	H10 : 3258	宅地	現GL-0.3mまで掘削削削、造土内
12	11.04.14	左京四塙四坊二坪	一条派川町221-4	八尾谷一雄	個人住宅新築	H10 : 3281	駐車場	現GL-0.5mまで掘削削削、造土内
13	11.04.16	左京五塙八坊十坪	西木町290-2	村井義徳	個人住宅改築	H10 : 3263	宅地	工事先行
14	11.04.19	左京四塙四坊一坪	二条派川町71-2	臼井政良	礼拝場・個人住宅新築	H10 : 3092	宅地	現GL-0.9mまで掘削削削
15	~ 05.12	左京七塙一坊	柏木町	奈良市長	河川改修	H09 : 3064	河川	現GL-4.9mまで掘削削削、造土内
16	11.04.22	左京一塙二坊二坪	法蓮町325-2	四條企画公庫 奈良支店	住宅建設	H10 : 3320	宅地	現GL-0.3mまで掘削削削、造土内
17	11.04.26	左京八塙一坊十六坪	柏木町159ほか	八戸代ゼンサン 電機株式会社	軒舎建設	H09 : 3215	水田	基礎工事の確認
18	11.04.30	右京一塙北辺二塙二坪	秋篠町月町215-16	田中 尚	個人住宅改築	H10 : 3291	宅地	現GL-0.6mまで掘削削削、造土内
19	11.05.06	左京五塙六坊十二坪	北京終町64	森木 優	個人住宅増築	H10 : 3308	宅地	工事先行
20	11.05.07	右京三塙一坊十坪	二条大路町4丁目 259-1	アイフル株式会社	店舗建設	H10 : 3325	宅地	現GL-1.5mまで掘削削削、造土内
21	11.05.07	左京四塙五塙十六坪	三条町字三瀬町53-3	森森哲則・森 慶樹	個人住宅新築	H10 : 3101	宅地	現GL-0.3mまで掘削削削、造土内
22	11.05.10	右京七塙二坊一坪	七条1丁目370	治橋田敦	個人住宅改築	H10 : 3319	宅地	現GL-0.25mまで掘削削削、造土内
23	11.05.10	右京二塙一坊一坪	雪原町84、85-1	中矢道夫	個人住宅新築	H10 : 3317	宅地	工事先行
24	11.05.11	広大寺池道跡	池田町165-1	福井幸雄	個人住宅改築	H11 : 3008	宅地	現GL-0.2mまで掘削削削、造土内
25	11.05.17	右京五塙二坊七・十坪	半松2丁目250-20	内本興正	個人住宅新築	H11 : 3009	宅地	現GL-0.12mで地山削削
26	11.05.17	左京九塙一坊七坪	西九条町2丁目4-1	中西紀久男	倉庫新築	H11 : 3012	倉庫	現GL-1.1mまで掘削削削、作土内
27	11.05.17	左京四塙一坊十一坪	四条1路2丁目37-32	生島顯久	個人住宅新築	H10 : 3304	宅地	現GL-0.34mまで掘削削削、造土内
28	11.05.18	左京四塙一坊十四坪	四条大路2丁目30-1	宗教法人報善庵	屋外駐車場新設	H10 : 3299	水田	現GL-0.3mで地山削削
29	11.05.19	右京七塙二坊一坪	七条1丁目387-2	藤岡慶太郎	共同住宅増築	H10 : 3199	宅地	掘削なし
30	11.05.23	右京二塙二坊一坪	二条町3丁目80-15	脚立雄雄	個人住宅改築	H10 : 3287	宅地	現GL-0.3mまで掘削削削、造土内
31	11.05.25	右京一塙六坊十四坪	法蓮町1314-3	山口光男・山 口洋子	個人住宅新築	H10 : 3301	宅地	現GL-0.36mまで掘削削削、造土内
32	11.06.01	左京四塙四坊十坪	半松5丁目560-27	浦井健大	個人住宅改築	H10 : 3243	宅地	現GL-0.3mまで掘削削削、造土内
33	11.06.01	左京四塙四坊十一坪	東九条町1134	山田耕明	資材置場造成	H11 : 3022	水田	現GL-0.7mまで掘削削削、作土内
34	11.06.02	左京四塙二塙十一坪 (田村第)	四条大路1丁目462-17	中島康司	個人住宅新築	H11 : 3006	宅地	現GL-0.35mまで掘削削削、造土内

番号	調査日	追跡名	調査地	届出者名	事業内容	益出受付番号	現況	立会結果
35	11.06.02	左京四条四坊二丁一坪	三条大宮町370-2、370-5	川本早翠	個人住宅改築	H110 : 3280	宅地	現GL-0.1mで地山
36	11.06.08	右京六条一坊一坪	六条1丁目569	松井孝成	個人住宅改築	H110 : 3326	宅地	現GL-0.27mまで掘削、造成土内
37	11.06.08	左京三条六坊二坪	坂戸新町12-8	瀧邊丈綱・瀧邊昭子	個人住宅改築	H110 : 3295	宅地	現GL-0.5mまで掘削、造成土内
38	11.06.08	右京二条三坊一坪	貴源町149-3、-4	島山哲夫	個人住宅新築	H10 : 3316	宅地	現GL-0.35mまで掘削、造成土内
39	11.06.10	左京二条七坊一坪	北茨町1-2	中谷一雄	個人住宅新築	H11 : 3026	宅地	現GL-0.2mまで掘削、造成土内
40	11.06.10	左京四条二坊十一坪 (田村栄)	四条大路1丁目462-60	青山貴廣	個人住宅新築	H11 : 3016	宅地	現GL-0.11mまで掘削、造成土内
41	11.06.15	左京一条七坊十五坪 東七坊大路	今小路町10	村上 勇	店舗新築	H11 : 3046	宅地	現GL-0.7mまで掘削、造成土内
42	11.06.16	二条人路	芝造町1丁目77-15	藤野和之助	個人住宅改築	H110 : 3324	宅地	現GL-0.2mまで掘削、造成土内
43	11.06.16	左京二条七坊五坪	北平田西町21-2	米沢義幸	個人住宅新築	H111 : 3019	宅地	現GL-0.1mで地山
44	11.06.21	奈良町灘跡	高畠町744-2	井岡修一	個人住宅改築	H11 : 3010	宅地	現GL-0.4mまで掘削、造成土内
45	11.06.25	左京七条四坊1丁三坪	東九条町1101-3	山 浩由	個人住宅新築	H11 : 3025	宅地	現GL-0.5mまで掘削、造成土内
46	11.06.28	左京四条四坊1坪	三条前町69 1	柳田弘之	個人住宅新築	H10 : 3288	宅地	現GL-0.9mで地山
47	11.06.29	右京四条六坊十一坪 8、4	六条町3丁目1069-8、-4	奈良市長良	公園造成	H111 : 3050	駐車場	現GL-0.7mまで掘削、造成土内
48	11.07.05	左京二条四坊三坪	法蓮町158-1	後藤達也	個人住宅新築	H11 : 3032	宅地	現GL-0.4mまで掘削、造成土内
49	11.07.06	右京二条四坊八坪	西ノ寺町2丁目2034	岡澤好子	共同住宅新築	H11 : 3038	水田	現GL-0.6mまで掘削、谷埋立土内
50	11.07.07	左京一条五坊一坪	法蓮町827 4、829-12	松本益幸	個人住宅新築	H11 : 3051	宅地	現GL-0.6mまで掘削、地山に干渉する
51	11.07.07	左京九条四坊十一・十 二坪	東九条町内	奈良市水道事業管理課	水道管設置	H11 : 3029	道路	現GL-1.2mまで掘削、造成土内
52	11.07.12	内人寺跡境内	西大寺魔王町1丁目607-12	鶴井孝夫	個人住宅改築	H11 : 3005	宅地	現GL-0.45mで地山
53	11.07.12	左京一条四坊八坪	法蓮町地内	奈良市水道事業管理課	水道管設置	H111 : 3028	道路	造成土内
54	11.07.12	左京四条四坊十三坪 3、4	三条前町312-1、 三条大宮町345-1、 3、4	柳田弘之	事務所新築	H11 : 3064	宅地	現GL-0.9mまで掘削、造成土内
55	11.07.12	左京二条四坊十二坪	北半出東町16	小川隆也	個人住宅新築	H11 : 3049	宅地	現GL-0.3mまで掘削、造成土内
56	11.07.13	左京五条二坊五坪 15	円秀人跡南町349-15	長井利大	個人住宅新築	H11 : 3062	宅地	現GL-0.3mまで掘削、造成土内
57	11.07.13	左京五条二坊五坪	四条大通南町368-17	大賀降信	個人住宅新築	H11 : 3061	宅地	現GL-0.3mまで掘削、造成土内
58	11.07.13	左京五条三坊七坪	恋の座2丁目210-21	葛輪博一	個人住宅新築	H11 : 3013	宅地	現GL-0.5mまで掘削、造成土内
59	11.07.13	右京二条四坊十三坪	菅原町684-1	オーススハウジング㈱	住宅造成	H10 : 3081	水田	現GL-0.75mまで掘削、谷埋立土内
60	11.07.15	左京二条四坊八坪	芝町2丁目149-2	大浦定子	共同住宅新築	H11 : 3055	宅地	現GL-0.55mで地山
61	11.07.16	占市城跡	占市町20	河田延寿	個人住宅新築	H11 : 3030	宅地	現GL-0.35mで地山
62	11.07.16	元興寺跡境内	南市町28	春日大社	宗教施設改築	H111 : 3039	宅地	現GL-0.3mまで掘削、造成土内
63	11.07.21	右京五条二坊一坪	三条町	奈良市水道事業管理課	水道管設置	H11 : 3054	道路	現GL-0.7mまで掘削、造成土内
64	11.07.30	古市城跡	古市町1846-59	谷内铁也	個人住宅新築	H10 : 3322	宅地	現GL-0.1mで地山
65	11.08.17	占市城跡	占市町2380-21	小池 光	個人住宅新築	H11 : 3076	宅地	現GL-0.8mで地山
66	11.08.23	左京四条一坊三坪	四条大通3丁目213-4	西久保博三	個人住宅改築	H11 : 3092	宅地	現GL-1.0mで地山
67	11.08.24	右京二条二坊一坪	西人寺町1丁目2308区4-1	岡本正幸	共同住宅新築	H11 : 3085	宅地	造成土内
68	11.08.25	左京五条六坊十坪	西人寺町305-17	石川明美	個人住宅改築	H11 : 3075	宅地	現GL-0.6mまで掘削、地山に干渉する
69	11.08.27	占市城跡	占市町2112-81	吉田一	個人住宅新築	H111 : 3099	宅地	T事先行
70	11.08.30	古市城跡	古市町2352-128	入江正明・後藤勝子	個人住宅新築	H111 : 3088	宅地	現GL-0.3mまで掘削、造成土内
71	11.09.01	東西坊大路	芝町1丁目地内	奈良市水道事業管理課	水道管設置	H11 : 3095	道路	現GL-1.3mまで掘削、作土内
72	11.09.01	古市城跡	古市町2352-19	山本一幸・中室きよよ	個人住宅新築	H11 : 3098	宅地	現GL-0.2mで地山
73	11.09.03	占市城跡	占市町2352-32	木村健二	個人住宅新築	H111 : 3115	宅地	T事先行
74	11.09.08 ~09.09	左京九条一坊一・二坪 西ノ寺町5丁目	奈良市水道事業管理課	水道管設置	H111 : 3011	道路	現GL-1.4mまで掘削、作土内	
75	11.09.09	右京四条二坊六坪	尼辻西町7-31	石出一則	下水道管設置	H11 : 3063	宅地	現GL-1.2mで地山
76	11.09.13	左京二条四坊十二坪	法蓮町695-1	上田篤史・上田実生	個人住宅新築	H11 : 3104	宅地	現GL-0.6mまで掘削、造成土内

番号	調査日	遺跡名	調査地	基 山 名	事 業 内 容	届出受理番号	現状	立 会 結 果
77	11.09.13	古市城跡	古市町2226 3、 2215	中村好志	個人住宅新築	H11 : 3101	宅地	現 GL-1.0mまで掘削、造成土内
78	11.09.13	左京三条二坊西畔	四条大路南町355- 5、362-2	米田弘	個人住宅新築	H11 : 3135	宅地	現 GL-0.5mまで掘削、造成土内
79	11.09.13	高良町遺跡（南市指定地）	紀寺町1001 1	谷 李三	個人住宅改築	H11 : 3078	宅地	現 GL-0.5mまで掘削、地山に至らず
80	11.09.14	左京五条八坊二坪	西木辻町110 26	学校法人愛塚 学園	校舎増築	H11 : 3067	宅地	丘頂の縁の構築下を確認
81	11.09.14	古市城跡	古市町2352-11	寺脇 啓	個人住宅新築	H11 : 3082	宅地	現 GL-0.85mまで掘削、作土内
82	11.09.14	秋篠寺旧境内	秋篠町737-1、782-3	吉田雅則	個人住宅改築	H10 : 3313	宅地	現 GL-0.1mで地山
83	11.09.17	左京九条四坊一坪	東九条町325-3	松村 品	駐車場造成	H11 : 3117	宅地	現 GL-0.5mまで掘削、造成土内
84	11.09.21	左京四条六坊十西畔	下御門町21	井上清孝	併用住宅改築	H11 : 3121	宅地	工事先行
85	11.09.22	右京二条三坊八坪	内人寺芝町1丁目 248-1、248-1	小針孝嗣	個人住宅改築	H11 : 3084	宅地	現 GL-0.4mで地山
86	11.09.24	左京四条八坊七坪	小川町24	仏香寺	庭園増築	H11 : 3149	宅地	現 GL-0.5mまで掘削、造成土内
87	11.09.27	二条大路	萬葉池町2-2	吉田潔治	共同住宅新築	H11 : 3120	宅地	T.事先行
88	11.09.27	右京三条二坊十二坪	貴原町63街区	吉松道雄	共同住宅新築	H10 : 3311	宅地	現 GL-0.5mまで掘削、造成土内
89	11.09.27	左京九条二坊十坪	西九条町3丁目5-7	西九条町会所 改築委員会所	集合所改築	H11 : 3141	宅地	現 GL-1.0mまで掘削、作土内
90	11.09.27	古市城跡	古市町2352-20	鈴木正史	個人住宅新築	H11 : 3133	宅地	現 GL-0.3mまで掘削、造成土内
91	11.09.27	左京八条二坊十五坪	夷町535	奥田光一	個人住宅新築	H11 : 3130	宅地	工事先行
92	11.09.28	左京二条六坊二坪	北市町78-2、-3	松田真太郎	個人住宅新築	H11 : 3116	宅地	現 GL-0.3mまで掘削、造成土内
93	11.09.28	古市城跡	古市町2352-13	清水廣樹・筆 村まさ代	個人住宅新築	H11 : 3068	宅地	現 GL-0.5mまで掘削、造成土内
94	11.09.28	古市城跡	古市町2352-36	小野豊典	個人住宅新築	H11 : 3069	宅地	現 GL-0.5mまで掘削、造成土内
95	11.09.30	左京四条五坊一・二・三 西岸横小路	杉ヶ町地内	金島市水道事 業管理課	水道管改良	H11 : 3122	道路	現 GL-1.0m以上掘削、造成土内
96	11.09.30	右京二条二坊八坪	吉野町36、38、39- 48	仲井清次郎	共同住宅新築	H11 : 3129	宅地	現 GL-1.5mまで掘削、造成土内
97	11.10.04	南紀寺遺跡	南紀寺町3丁目277- 1	樋 勇	共同住宅新築	H11 : 3109	水戸	工事先行
98	11.10.04	左京四条四坊十六坪	三条宮前町37-7	松崎重蔵	共同住宅新築	H11 : 3132	宅地	統打ち工事先行
99	11.10.04	美福寺旧境内	東向北町17	川井昭一	店舗改築	H11 : 3146	宅地	現 GL-1.0mまで掘削、作土内
100	11.10.06	左京六条四坊十六坪	大安寺町5丁目940-1	宮野健二・吉 野千昌子	個人住宅新築	H11 : 3143	宅地	現 GL-0.5mまで掘削、作土内
101	11.10.12	二条条間路	此無原東町11	丸川 雄	個人住宅改築	H11 : 3177	宅地	現 GL-0.2mまで掘削、造土内
102	11.10.13	興福寺旧境内	花之町23	高橋栄	個人住宅改築	H10 : 3290	宅地	現 GL-1.1mで地山
103	11.10.18	元興寺旧境内	福智院町2-4	高田勝実	個人住宅新築	H11 : 3151	宅地	T.事先行
104	11.10.18	古市城跡	古市町2352-54	水谷祐次・菅 原一	個人住宅新築	H11 : 3089	宅地	現 GL-0.3mまで掘削、造成土内
105	11.10.19	新楽壽寺跡境内	高畠町52-3、1323-3	小嶋正子	庭園改築	H11 : 3156	宅地	現 GL-1.7mで地山
106	11.10.21	右京五条四坊一坪	半松町4丁目346-1	福出敏男	共同住宅新築	H11 : 3145	宅地	現 GL-0.2mまで掘削、造土内
107	11.10.21	左京五条三坊五坪	志の原2丁目230- 33、-163	谷口康夫	個人住宅改築	H11 : 3160	宅地	現 GL-0.1mまで掘削、造成土内
108	11.10.26	古市城跡	古市町2352-21	山村安政	個人住宅新築	H11 : 3107	宅地	現 GL-0.4mまで掘削、造成土内
109	11.10.27	左京四条一坊九坪	四条大路2丁目632- 9	片山也・片 山文子	個人住宅改築	H11 : 3114	宅地	現 GL-1.4mまで掘削、造成土内
110	11.10.27	左京三条二坊十五坪	芝辻町1丁目296	近畿日本鉄道 本社	近畿日本鉄道便所 増築	H11 : 3080	駅舎	現 GL-0.5mまで掘削、造成土内
111	11.10.29	奈良町遺跡	今在家町43-2、-3	今在家町白治 金	集合所改築	H11 : 3158	宅地	現 GL-1.0mまで掘削、地山に至らず
112	11.10.29	奈良町遺跡	高畠町1005-4	山口栄二郎	共同住宅新築	H11 : 3160	宅地	現 GL-0.4mまで掘削、地山に至らず
113	11.11.01	左京三条一坊一坪	西九条町5丁目3-1	人幡秋上耕	倉庫増築	H11 : 3094	宅地	現 GL-1.0mまで掘削、地山に至らず
114	11.11.01	奈良町遺跡	尉坂町211	永岡 錠	個人住宅改築	H11 : 3140	宅地	現 GL-0.3mで地山
115	11.11.02	古市城跡	古市町2352-59	己良子	個人住宅新築	H11 : 3140	宅地	現 GL-0.3mで地山
116	11.11.02	左京二条三坊六坪	法華寺町187、188	川崎健治郎	共同住宅新築	H11 : 3100	宅地	T.事先行
117	11.11.02	右京右条四坊九坪	平松5丁目560-6	井純	個人住宅改築	H11 : 3126	宅地	現 GL-0.6mまで掘削、地山に至らず
118	11.11.02	左京二条五坊八坪	人吉町1丁目37-13	横田慶平	共同住宅新築	H11 : 3154	宅地	現 GL-1.3mまで掘削、地山に至らず

土工立会

番号	調査日	遺跡名	調査地	届山名	事業内容	高山受理番号	現況	立会結果
119	11.11.05	古市城跡	古市町2352-33	木村修一	個人住宅新築	H11 : 3162	宅地	現GL-1.3mで地山
120	11.11.05	五条大路	紀寺町661-6	柴田也壽志	個人住宅新築	H11 : 3178	宅地	現GL-0.35mで地山
121	11.11.08	右京六条三坊七坪	大安寺町3丁目78 5	熊木哉一	共同住宅新築	H11 : 3175	宅地	現GL-0.5mで地山
122	11.11.08	右京七条四坊十一坪	七条西町1丁目627 -135	鶴洞 猛	個人住宅新築	H11 : 3171	宅地	現GL-0.1mで地山
123	11.11.08	右京三条三坊七坪	賀瀬町152-3、-5、 153	中馬真治	個人住宅新築	H11 : 3157	宅地	現GL-0.4mまで掘削、造成土内
124	11.11.08	興福寺旧境内	大正山(茨波町)13-4 の一部	近東宏典	共同住宅新築	H11 : 3059	宅地	現GL-0.25mまで掘削、造成土内
125	11.11.09	多聞城跡	法蓮町1416-1	台田市教務委 員会	岩手町小学校改築	H11 : 3097	学校	現GL-1.4mで地山
126	11.11.10	右京一条北辺二坊二坪	内寺北町1丁目 274	小山株式会社	社宅健蔵	H11 : 3187	宅地	現GL-0.05mまで掘削、造成土内
127	11.11.10	東四坊大路	法蓮町330-3	小畠修一・古川 ヨシキ	個人住宅新築	H11 : 3166	宅地	上事先行
128	11.11.11	右京三条三坊十一坪	宝来2丁目825-5	本浦良之	個人住宅新築	H11 : 3180	宅地	現GL-0.4mまで掘削、造成土内
129	11.11.12	左京三条三坊八坪	西九条町2丁目1- 22	増田達男	共同住宅新築	H11 : 3182	宅地	現GL-0.2mまで掘削、造成土内
130	11.11.15	西大寺廿坊内	西大寺小坊町294	河野山由紀雄	片桐付賃貸住宅新 築	H11 : 3161	宅地	現GL-0.9mで地山
131	11.11.15	左京四条四坊二坪	三条承川町222-3	森下英仁	個人住宅新築	H11 : 3150	駐車場	T事先行
132	11.11.15	左京八条二坊六坪	西町429-3	中西正義	個人住宅新築	H11 : 3136	水田	現GL-1.3mで中世 佐保川流域上層
133	11.11.18	左京三条五坊九坪	北之町11-17~21、 74-1、-4	柏出民夫	個人住宅新築	H11 : 3119	宅地	擾乱のみ
134	11.11.18	鹿塚古墳隣接地	佐川町3199-1、 3202-1、3204-1	吉川紀美子	個人住宅新築	H11 : 3228	宅地	T事先行。現GL- 0.15mで地山
135	11.11.19	右京五条三坊・三坪	宇治町2丁目264- 75	村田良善	個人住宅新築	H11 : 3159	宅地	現GL-1.4mまで掘削、造成土内
136	11.11.22	右京二条二坊二坪	二条三丁目135- 2	鶴見保蔵・櫻 子事業団	露天風呂施設露 天風呂施設建設	H11 : 3168	宅地	現GL-2.15mで地山
137	11.11.23	右京一条北辺四坊七坪	西寺宝ヶ丘796- 29	小川正做・小川 弘礼子	個人住宅新築	H11 : 3147	宅地	工事先行
138	11.11.25	右京一条六坊二坪	阪新町屋5-1~2、-6	宝寿庵慶86	別荘付き住宅新築	H11 : 3096	宅地	現GL-0.4mで地山
139	11.11.25	西大寺旧境内	西大寺町2丁目 255-1	阪急庄慶88	共同住宅新築	H11 : 3185	宅地	現GL-0.3mまで掘削、造成土内
140	11.11.25	興福寺廿坊内	大山川(茨波町)16 5	中本 肇	事務所新築	H11 : 3135	宅地	現GL-1.1mまで掘削、地山にせりあ
141	11.11.29	内寺旧境内	西大寺野神町2丁 月1783、1778	藤田一郎	共同住宅新築	H11 : 3190	細地	現GL-0.4mまで掘削、地山にせりあ
142	11.11.29	右京一条二坊二坪	尼山内町2丁目 2260-4	中西光夫	個人住宅新築	H11 : 3220	細地	現GL-1.5mで地山
143	11.11.29	三条大路	尼山内町213 5、2 44-3	東久保長生	店舗付き住宅新築	H11 : 3091	宅地	現GL-3.5mで地山
144	11.11.30	右京三条四坊九坪	平松5丁目526-34	佛納賀也・佛 納保安美	個人住宅新築	H11 : 3176	宅地	現CL-3.5mまで掘削、造成土内
145	11.11.30	右京三条三坊一坪	青原町170-1	奈良市農業振 興組合	奈良市農業振 興組合	H11 : 3318	宅地	現GL-1.8mまで掘削、造成土内
146	11.11.30	古市城跡	古市町2352-56	殿部廣也	個人住宅新築	H11 : 3103	宅地	現GL-0.4mまで掘削、造成土内
147	11.12.01	右京四条六坊四坪・奈 良城跡	尼山内町1027 1、 1028-32-一部	安井美智代	共同住宅新築	H11 : 3181	宅地	現GL-1.0mで地山
148	11.12.03	左京四条二坊五坪	上田 大	個人住宅建設	H11 : 3202	宅地	現GL-0.5mまで掘削、造成土内	
149	11.12.09	右京七条二坊一坪	六条町119 1	中内桂美・中 西貴子	個人住宅新築	H11 : 3189	宅地	掘削は造成土内
150	11.12.13	左京八条一坊十三坪	西町106-1、-4	白川達也	個人住宅新築	H11 : 3303	水田	現GL-0.2mまで掘削、造成土内
151	11.12.15	左京二条六坊二坪	北山町7-1、-2の 一部	宮口昌訓・宮 内尚子	個人住宅改築	H11 : 3207	宅地	現GL-0.6mで地山
152	11.12.16	龜岡町遺跡	高柳町744-2の 一部	井岡博一	個人住宅改築	H11 : 3165	宅地	現GL-0.36mまで掘削、造成土内
153	11.12.17	古市城跡	古市町2352-45	南柳幸信	個人住宅改築	H11 : 3236	宅地	現GL-0.6mまで掘削、造成土内
154	11.12.20	右京八条三坊一坪	七条町1丁目317-7、 518 11	西出辰男	個人住宅新築	H11 : 3186	宅地	現GL-1.0mまで掘削、造成土内
155	11.12.20	右京四条六坊十二坪 ・西坪・奈良町遺跡	阿万子万字町18、19	奈良セントラル イオンモール	事務所新築	H11 : 3237	宅地	現GL-0.2mまで掘削、造成土内
156	11.12.28	右京二条七坊十四坪 ・奈良町遺跡	北平田町5-1、-2	大宮守一	個人住宅新築	H11 : 3247	宅地	現GL-0.3mまで掘削、造成土内
157	12.01.06	右京一条二坊一坪	菅原町142-1	中川敏一	共同住宅建設	H11 : 3198	宅地	現GL-1.4mで河川 堆積上面
158	12.01.06	西大寺旧境内	西大寺新町12552	藤村佳樹・藤 村美智子	個人住宅新築	H11 : 3234	宅地	現GL-0.3mまで掘削、造成土内
159	12.01.06	右京五条四坊五坪	六条3丁目900-1、 7	冨田崇義	個人住宅新築	H11 : 3252	荒地	現GLで地山を確認

番号	調査日	調査名	調査地	届出名	事業内容	届出受取番号	現況	立会結果
160	12.01.07	占市城跡	古市町2862-12	古川正久	個人住宅新築	H11 : 3215	宅地	現GL-0.5mまで掘削、造成土内
161	12.01.12	左京九条二坊十六坪・ 八条人跡	西九条町238 1の 落	廣瀬良尚	個人住宅新築	H11 : 3217	宅地	現GL-0.4mで地山
162	12.01.12	左京六条一坊十六坪	柏木町394-1	龍村善明	個人住宅新築	H11 : 3203	宅地	現GL-0.45mまで掘削、造成土内
163	12.01.13	左林神古墳外堀	山腰町565 1	片岡正憲	個人住宅新築	H11 : 3197	宅地	現GL-0.31mまで掘削、造成土内
164	12.01.18 ~01.19	左京二条一坊七坪	二条人跡南3-183	人阪ガス㈱	ガス管新設	H11 : 3223	道路	現GL-0.9~1.1mまで掘削、造成土内
165	12.01.20	左京四条五坊九坪	三条町329-2~ 3、-7~9	柳沢タケツ	事務所ビル新築	H11 : 3214	宅地	現GL-1.4mまで掘削、造成土内
166	12.01.24	左京一坊人跡	三条町3丁目135-2	簡易住民宿泊 事業所	車椅子専用駐車場	H11 : 3264	宅地	現GL-0.6mまで掘削、造成土内
167	12.01.26	高野禪宮拝庭地	高畠町19-3	杉井和宏	個人住宅新築	H11 : 3244	宅地	工事先行
168	12.01.28	広大寺池遺跡	今市町285 1	大修理改修	施設改修	H11 : 3251	宅地	現GL-0.3mで地山
169	12.01.28	左京五条一坊十坪	四条大路南町420- 19	美馬屋二・美 馬弓子	個人住宅新築	H11 : 3216	宅地	現GL-0.5mまで掘削、造成土内
170	12.01.31 ~02.04	赤井横穴墓群	西大寺赤井町956- 1、-2、-55、ほか	(仮称)社会福 祉法人秋葉会	特別養護老人ホー ム建設	H10 : 3057	山林	堆山確認、造構・道 筋なし
171	12.02.03	左京三条六坊一坪	坂筋町34-3、-4	今井潤一	個人住宅新築	H11 : 3228	宅地	現GL-0.6mまで掘削、造成土内
172	12.02.04	左京九条一坊二坪	西九条町1丁目5- 15	中尾義信	店舗付き共同住宅 新築	H11 : 3205	宅地	現GL-0.6mまで掘削、耕し土内
173	12.02.08	吉市城跡	吉市町2326	西本進・西本 博好	個人住宅新築	H11 : 3254	畑地	現GL-3mまで掘削、 地山確認
174	12.02.08	左京五条一坊十二坪	四条大路南町355- 4、7	岡田昌代・岡 田浩夫	個人住宅改築	H11 : 3253	宅地	現GL-0.7mまで掘削、 造成土内
175	12.02.09	三条大路	三条町489-1	住友商一・火災 保険株式会社	事務所ビル新築	H11 : 3279	宅地	現GL-0.3mまで掘削、 造成土内
176	12.02.10	左京四条二坊四・五 坪	尼辻町450-1、-5 ほか	株式会社オーナ クホーム	分譲住宅新築	H11 : 3245	宅地	現GL-0.6mまで掘削、 造成土内
177	12.02.10	左京二条六坊五坪	内侍原町33-2、-3	山口證子	個人住宅改築	H11 : 3257	宅地	現GL-1.7mで地山
178	12.02.14	左京二条五坊北部	法蓮町792 3	吉本 治	個人住宅改築	H11 : 3266	宅地	現GL-0.2mまで掘削、 造成土内
179	12.02.15	秋篠寺跡境内	秋篠町623-2	河田英紀	個人住宅新築	H11 : 3155	荒地	現GL-0.10mで地山
180	12.02.16	左京八条二坊十二・ 三坪	古町46-4、4~6-6	田中通郎	個人住宅改築	H11 : 3265	宅地	現GL-0.4mまで掘削、 耕し土内
181	12.02.16	興善寺跡境内	西御門町1-1、-2	戸越ハーベス ビル㈱	店舗建設	H11 : 3188	宅地	現GL-1.9mまで掘削、 堆山に達せず
182	12.02.16	左京五条七坊十六坪	輪軸町10-1	黒田雄雅	個人住宅新築	H11 : 3283	宅地	掘削なし
183	12.02.18	左京石桑三坊五・六坪	恋の木2丁目230- 48	小島克彦	個人住宅新築	H11 : 3233	宅地	現GL-1.1mまで掘削、 地山に達せず
184	12.02.21	右京一条北辺一坊三坪	西大寺新町92-2	小村芳輝	個人住宅新築	H11 : 3224	宅地	現GL-0.3mまで掘削、 造成土内
185	12.02.21	左京四条四坊六坪	三条大宮町358-1	古川 勝	個人住宅新築	H11 : 3287	宅地	現GL-0.10mまで掘削、 耕し土内
186	12.02.23	西藤寺跡	西人寺町1丁目 43-1、-4	桜谷一郎	個人住宅新築	H11 : 3260	宅地	掘削なし
187	12.02.23	左京四条一坊六・十一 坪	四条大路1丁目462- 53	辻本久礼	個人住宅新築	H11 : 3296	宅地	工事先行
188	12.02.24	左京二条七坊十・十一 坪	北魚東町15-7	水野隆志・水 野純子	個人住宅新築	H11 : 3255	宅地	現GL-0.2mまで掘削、 造成土内
189	12.02.24	左京二条四坊三坪	法蓮町157-5	中央扶桑株式 会社	分譲住宅新築	H11 : 3134	宅地	現GL-0.35mまで掘削、 造成土内
190	12.02.24	寶院寺跡境内	寶院町132の一部	中田時夫	個人住宅新築	H11 : 3144	宅地	現GL-0.3mまで掘削、 造成土内
191	12.02.25	左京石桑五坊五坪	三条町330-1	豊福英一	個人住宅新築	H11 : 3183	道路	現GL-2.3mで地山
192	12.03.02	左京一条五坊一坪	輪橋町7-1	杉本和弘	店舗付住宅新築	H11 : 3110	宅地	現GL-0.65mで地山
193	12.03.06	左京六条二坊一坪	大女寺町2丁目133- 1、-2、-34-各 部	武野 忠	個人住宅新築	H11 : 3267	駐車場	現GL-1.9mで地山
194	12.03.07	萬福寺跡境内	東内北町26	柳とらたに	共同住宅新築	H11 : 3284	宅地	現GL-1.1mで地山
195	12.03.07	右京西条四坊一・八坪	宝来3丁目188-1	松田泰憲	個人住宅新築	H11 : 3277	地盤	現GL-1.45mで地山
196	12.03.07	右京四条四坊四坪	平松3丁目206-6	浦 達	個人住宅新築	H11 : 3241	宅地	現GL-0.3mで地山
197	12.03.13	右京一条二坊六坪	一条町2丁目34-29	杉木 祐	個人住宅新築	H11 : 3195	宅地	現GL-2.3mまで掘削、 造成土内
198	12.03.14	右京五条四坊十坪	平松3丁目560-34	松岡伸彌	個人住宅新築	H11 : 3298	宅地	現GL-0.1mで地山
199	12.03.14	左京二条六坊十一坪	法蓮町尻江10 8	阪原辰夫	個人住宅新築	H11 : 3303	宅地	現GL-0.35mまで掘削、 造成土内
200	12.03.15	東一坊人跡	八条3丁目447-1	株式会社共電	事務所新築	H11 : 3308	宅地	現GL-1.2mまで掘削、 造成土内
201	12.03.21 ~3.31	法華寺跡境内	法華町1215-4a 少	大阪ガス㈱北 東事業本部	ガス皆販設	H11 : 3269	道路	状況の確認

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	事業内容	届出受理番号	現況	立会結果
202	12.03.23	右京二条一坊十四坪 の第	三条大路5丁目222 平松町4丁目349-16、-18	仲西原光 円中宏明	個人住宅新築 個人住宅新築	H11：3280 H11：3249	畠地 宅地	現GL-0.5mまで掘削、造成土内
203	12.03.27	右京五条四坊一坪						現GL-0.85mまで掘削、造成土内
204	12.03.27	南紀寺遺跡	南紀寺町3丁目295-6	山川賀三	個人住宅新築	H11：3243	宅地	現GL-0.8mまで掘削、造成土内
205	12.03.27	左京二条五坊十一坪	北市町13	飯田 勝	個人住宅新築	H11：3291	宅地	現GL-0.4mまで掘削、造成土内
206	12.03.29	左京一条五坊九坪	芝辻プラズマ11丁目39	バーフラクトリ バティー教団	宗教施設新築	H11：3278	宅地	現GL-0.1mで地山
207	12.03.30	右京七条四坊十一坪	七条西町1丁目627-146	杉浦 康	個人住宅新築	H11：3294	宅地	現GL-0.4mで地山
208	12.03.31	左京六条一坊十一坪	柏木町393-18	南リノコ ボレーション	事務所・倉庫新築	H11：3275	宅地	現GL-0.55mまで掘削、造成土内
209	12.03.31	左京六条一坊十一坪	柏木町393-8	大西英夫	個人住宅新築	H11：3300	宅地	現GL-0.55mまで掘削、造成土内
210	12.03.31	東四坊大路	大安寺6丁目784-2の一部	株式会社モリ タク建	分譲住宅新築	H11：3314	宅地	現GL-0.8mで地山

80条（国指定名勝・史跡地内の現状変更）

番号	調査日	遺跡名	調査地	届出名	事業内容	届出受理番号	現況	立会結果
1	11.06.01	史跡大安寺旧境内	大安寺2丁目1299-1	宗教法人大安寺	便所撤去	H09：1029	寺地	現GL-0.5mまで掘削、造成土内
2	11.06.30 ～07.02	史跡大安寺旧境内	大安寺2丁目18-1 門跡	宗教法人大安寺	樹木移植	H10：1015	寺地	現GL-0.1mで基礎土
3	11.07.05 ～07.07	史跡大安寺旧境内	大安寺2丁目1294-1、 995-2、ほか	楠木博一	個人住宅新築	H10：1099	宅地	現GL-1.2mで地山
4	11.07.06 ～07.07	史跡元興寺極楽堂境内	中院町11	元興寺	樹石の移動・修整	H11：1016	宅地	現GL-0.5mまで掘削、造成土内
5	11.10.21	平城宮跡	二条大路街4丁目	奈良市長	壁装新設	H11：1008	道路	現GL-0.6mまで掘削、造成土内
6	11.11.30 ～12.9	史跡春日大社境内	春日町160-1	奈良市長	便所建設	H11：1029	社地	遷構なし
7	11.12.21	史跡大安寺旧境内	大安寺2丁目18-1 寺	宗教法人大安寺	南人門新築	H10：1045	寺地	現GL-0.1mまで掘削、造成土内を確認
8	11.12.28	史跡大安寺旧境内	大安寺2丁目18-1	宗教法人大安寺	東門の塀土	H10：1045	寺地	現GL-0.3mまで掘削、造成土内
9	12.02.24	名勝奈良公園	春日町1-4	奈良市長	駐車場案内版の設置	H11：1047	道路	現GL-1.0mまで掘削、造成土内
10	12.02.24	史跡春日大社境内	西側町1168	奈良市長	駐車場案内版の設置	H11：1047	道路	現GL-0.6mで地山
11	12.02.24	名勝奈良公園	春日町102	奈良市長	駐車場案内版の設置	H11：1047	道路	現GL-1.0mまで掘削、遺物台合確認
12	12.03.18 ～3.29	史跡東大寺旧境内	登人詔町	奈良市長	河川災害復旧工事	H11：1083	河川	土砂の確認

奈良市埋蔵文化財調査概要報告書

平成11年度

平成13年3月 2日印刷

平成13年3月21日発行

編集 文化財課 埋蔵文化財調査センター

発行 奈良市教育委員会

(奈良市二条大路南1丁目1番1号)

印刷 明新印刷株式会社

(奈良市南京終町3丁目464番地)